

資 料 編

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
1	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	洛西地域におけるバス利便性の向上	洛西地域を運行するバス・鉄道事業者の連携により、複数事業者のバスダイヤ、系統、乗場、案内表示の一元的な見直しを図り、地域の公共交通の利便性を向上させ、他地域の事業者の連携モデルとします。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				★市内公共交通の乗客数(一日あたり) 2009年度:979千人 2010年度:984千人 2011年度:987千人 2012年度:1,000千人 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施	○公共交通利用促進策(洛西さくらまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施 ○京都市域における鉄道・バスの利便性を向上するため、洛西地域での取組をベースに、複数の交通事業者が結節する駅(四条大宮、出町柳)において乗換案内等の充実を実施	○公共交通利用促進策(洛西さくらまつりでのブース設置、バス乗車体験等)の実施 ○四条大宮及び出町柳において、のりば案内図・路線図を設置・更新 ○四条通において、公共交通の案内のあり方をはじめ、既存案内看板の充実や公共交通を利用したまちなかの活性化を検討		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	6,800(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当) 6,716(0)	5,400(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当) 5,051(0)	4,900(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当) 4,239(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当)	8,239(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当)	
					■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○平成23年3月に実施 ○洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキンググループへの参加	○平成24年3月に西6号系統において、京阪京都交通とのダイヤ調整による京大桂キャンパスから阪急桂駅西口への等間隔化の実施。 ○洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキンググループへの参加	○洛西地域公共交通利便性向上検討ワーキンググループへの参加		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	0 0	0 0	0 0	0 0	
2	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	京都駅南口駅前広場の整備	京都市内最大のターミナルである京都駅の南口駅前広場を、「使いやすさ」「やさしさ」「美しさ」「おもてなし」「賑わい」を実感できる駅前広場としてリニューアルします。	□実施済み又は本格実施中 ■実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討		○工事着手		
						イ進捗状況	○各施設の規模・形状の検討 ○交通量調査(5月) ○路線測量(2月)	○詳細設計に向けた関係者との協議 ○都市計画原案の説明会(7月) ○公聴会の開催(8月)	○都市計画決定(5月) ○詳細設計の実施		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	26,500(0) 26,177(0)	103,000(55,660) 7,034(0)	262,080(131,351) 【内、繰越分94,580】	1,404,100(756,100)	
3	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	市内共通乗車券の創設	鉄道・バス事業者のネットワークを最大限に生かし、市内の電車・バスが乗り降り自由となる、使い勝手の良い乗車券(京都フリーパス)を創設します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○京都フリーパスの創設	○見直し・充実			
						イ進捗状況	○平成22年12月に創設した「電車・バスでまわる『歩くまち・京都』京都フリーパス」の利用範囲、発売箇所、特典施設拡大に向けた検討	○こども券の発売(新規) ○利用範囲の拡大(充実)	○「電車・バスでまわる『歩くまち・京都』京都フリーパス」の販売 ○大人券の通信販売を開始		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	6,800(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当) 6,716(0)	5,400(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当) 5,051(0)	4,900(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当) 4,239(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当)	8,239(0)(「『歩くまち・京都』公共交通ネットワークの連携強化」の一部を充当)	
					■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○駅などのバリアフリー化の推進				
						イ進捗状況	○京都市みやこユニバーサルデザイン審議会(利用しやすい施設づくり部会)の開催(3月) ○阪急電鉄洛西口駅高架駅設置工事に伴う事前意見聴取	○京都市みやこユニバーサルデザイン審議会(利用しやすい施設づくり部会)の開催(8,12,3月)	○京都市みやこユニバーサルデザイン審議会(利用しやすい施設づくり部会)の開催(10,3月) ※10月:阪急電鉄洛西口駅高架駅設置に伴う事後検証		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	363(0) 103(0)	512(0) 357(0)	583(0) 253(0)	583(0)	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
4	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	駅などのバリアフリー化の推進	高齢者や障害のある方をはじめ、誰もが公共交通を利用して円滑に移動できるユニバーサル社会の実現を目指して、駅などの旅客施設及びその周辺の道路などのバリアフリー化を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○駅などのバリアフリー化の推進	○太秦地区及び大宮地区において「基本構想」を策定			
						イ進捗状況	○「京都市交通バリアフリー推進検討会議」の設置(7月) ○「京都市交通バリアフリー推進検討会議」の開催(7月, 11月, 12月, 3月) ○「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想の策定(3月)	○24年度に「移動等円滑化基本構想」を策定する「重点整備地区」として、太秦地区及び大宮地区を選定(4月) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(7月, 10月, 11月, 2月) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施(11月26日～12月25日) ○「太秦地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(8月, 10月, 11月, 2月) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施(12月18日～1月16日) ○「大宮地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月)	○25年度に「移動等円滑化基本構想」を策定する「重点整備地区」として、JR藤森地区・深草地区及び西院地区を選定(4月) ○「JR藤森・深草地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(5月, 8月, 11月, 2月) ○「西院地区バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」の設置及び開催(6月, 8月, 10月, 2月) ○「JR藤森・深草地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施(11月21日～12月20日) ○「西院地区バリアフリー移動等円滑化基本構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施(11月21日～12月20日) ○「JR藤森地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月) ○「深草地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月) ○「西院地区バリアフリー移動等円滑化基本構想」の策定(3月)		
						ウ予算額(うち国)千円	9,000(0)	17,800(0)	46,800(0)	157,693(0)	
						エ決算額(うち国)千円	8,743(0)	16,178(0)			
5	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	パークアンドライドの広域展開と観光地交通対策の実施	市内中心部及び観光地への自動車流入の抑制を図るため、近隣自治体との連携によるパークアンドライドを広域的に展開するとともに、観光シーズンを中心に、京都府警などと連携し、嵐山地区及び東山地区における臨時交通対策を含めた交通対策を実施することにより、歩行者の安全・快適性の確保と交通の円滑化を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○観光ピーク期のパークアンドライドの実施 ○嵐山地区、嵐山地区における交通対策	○観光ピーク期のパークアンドライドの実施 ○嵐山地区、嵐山地区における交通対策			
						イ進捗状況	○パークアンドライドの通年実施 ○京うららパークアンドライドの実施(4月) ○ハッピー・パークアンドライドの実施(12月) ○京都市都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月) ○嵐山地区、東山地区交通対策研究会の開催(11月, 3月) ○観光地交通対策の実施	○パークアンドライドの通年実施 ○嵐山地区、東山地区交通対策研究会の開催(8月) ○京都市都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月)	○パークアンドライドの通年実施 ○嵐山地区交通対策研究会の開催(8月) ○東山地区交通対策研究会の開催(9月) ○観光地交通対策の実施		
						ウ予算額(うち国)千円	24,400(2,400)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当)	28,700(6,700)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当)	22,000(0)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当)	21,600(0)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)」の一部を充当)	
						エ決算額(うち国)千円	24,171(2,399)	21,340(0)			
						計画	○観光ピーク期のパークアンドライドの実施 ○嵐山地区、嵐山地区における交通対策				
						イ進捗状況	○タイムズ桃山六地藏住宅博パーク＆ライドの実施(平成22年10月～) ○タイムズ西大路御池駅前パーク＆ライドの実施(平成23年4月～) ○タイムズ京阪六地藏駅前パーク＆ライドの実施(平成23年7月～) ○タイムズ地下鉄十条駅前パーク＆ライドの実施(平成23年10月～) ○タイムズ鴨川西ランプ(十条駅)、タイムズ上鳥羽ランプ(くいな橋駅)パーク＆ライドの実施(平成24年11月～) ○東山シャトルバスの運行及び五条坂北行停留所の二分設(24年4月28・29・30日, 5月3・4・5・6日の限定実施) ○東山シャトルバスの運行及び五条坂北行停留所の三分設(24年11月17・18・23・24・25日, 12月1・2日の限定実施)	○タイムズ桃山六地藏住宅博パーク＆ライドの実施(平成22年10月～) ○タイムズ西大路御池駅前パーク＆ライドの実施(平成23年4月～) ○タイムズ京阪六地藏駅前パーク＆ライドの実施(平成23年7月～) ○タイムズ地下鉄十条駅前パーク＆ライドの実施(平成23年10月～) ○タイムズ鴨川西ランプ(十条駅)、タイムズ上鳥羽ランプ(くいな橋駅)パーク＆ライドの実施(平成24年11月～) ○東山シャトルバスの運行及び五条坂北行停留所の二分設(24年4月27・28・29日, 5月3・4・5・6日の限定実施) ○東山シャトルバスの運行(11月2・3・4・16・17・23・24・30日, 12月1日)および五条坂北行停留所の三分設(25年11月16・17・23・24・30日, 12月1日)			
						ウ予算額(うち国)千円	0	0	0	0	
						エ決算額(うち国)千円	0	0			

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
6	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	公共交通不便地域の対応策に関する検討	モデル地域において、地域住民、交通事業者、行政が連携を図りながら、ワーキンググループを設置し、アンケート調査などを通じて、生活交通の維持に向けた仕組みづくりなど、公共交通不便地域のあり方を検討します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○対応策の実施			★市内公共交通の乗客数(一日あたり) 2009年度:979千人 2010年度:984千人 2011年度:987千人 2012年度:1,000千人 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○雲ヶ畑地域における生活交通を確保するための、地元住民との協議の継続	○雲ヶ畑自治振興会が運営主体となった新たな生活交通「雲ヶ畑バス「もくもく号」」を導入(4月) ○「もくもく号」の利用を促進するため、「雲ヶ畑地域グリーンツーリズム推進協議会」によるモニターツアーを実施(8月、9月、10月、11月、12月/計8回)	○「山幸橋」と「上賀茂西河原町」の2箇所の停留所を増設(4月) ○「もくもく号」の利用を促進するため、「雲ヶ畑地域グリーンツーリズム推進協議会」によるモニターツアーを実施(7月、9月、10月、11月、12月/計8回)		
						ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	6,800(0)(「歩くまち・京都」公共交通ネットワークの運搬強化)の一部を充当) 6,716(0)	0 0	0 0	0 0	
7	1.「既存公共交通」の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通利便性向上施策	交通情報通信システムの開発	バス車内における目的地到着予定時刻案内、乗継ぎ案内などの交通情報や目的地周辺の最新の観光情報を提供し、利便性を向上させるシステムを開発します。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討				
						イ進捗状況	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討		
						ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	0 0	0 0	0 0	0 0	
8	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	東大路通の自動車抑制と歩道拡幅	多くの市民、観光客が訪れる東大路通などにおいて、歩行空間の拡大と交通安全性の向上及び自動車交通の抑制を図ります。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 ■企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○「東大路通整備構想」の策定 ○交通調査の実施			
						イ進捗状況	○歩行空間創出推進会議の設置について関係者との協議 ○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(3月) ○シンポジウム「歩いて楽しい東大路」の開催(3月)	○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(4月、8月、3月) ○パブリックコメントの実施(5月25日～6月25日) ○「東大路通整備構想」の策定(8月) ○交通調査の実施(12月)	○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(9月、3月) ○交通調査の実施(11～12月)		
						ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	3,000(0) 2,945(0)	3,000(0) 16,610(0)	50,000 30,500(0)	30,500(0)	
9	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	「歩くまち・京都」を支える歩行空間の充実	四条通の歩道拡幅と公共交通優先化	市内最大の繁華街である四条通を中心とする都心地域において、歩道拡幅による快適な歩行空間の確保とマイカーから公共交通への転換を図ります。	□実施済み又は本格実施中 ■実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討		○工事着手		
						イ進捗状況	○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(7月、10月、1月) ○四条通の都市計画決定に向けた法定説明会の開催(9月) ○四条通の都市計画案の縦覧、意見書の募集(10月) ○四条通の都市計画決定(1月)	○四条通の歩道拡幅詳細設計に向け、関係者と協議 ○四条通沿道協議会の開催(6月、10月、11月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月)	○四条通の歩道拡幅測量・詳細設計 ○四条通の歩道拡幅工事に向け、関係者と協議 ○四条通沿道協議会の開催(9月、1月) ○「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議の開催(3月)		
						ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	16,000(4,562) 【内、繰越分7,000】 16,112(4,562) 【内、繰越分7,000】	66,700(16,632) 【内、繰越分7,700】 11,323(2,945) 【内、繰越分0】	384,620(206,085) 【内、繰越分51,620】	2,506,068(1,237,805)	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
10	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	未来の公共交通の充実	新しい公共交通システム(LRT、BRT)の導入検討	高い速達性と定時性、需要に見合った輸送力を併せ持つLRT(次世代型路面電車)やBRT(バス高速輸送システム)などの新しい公共交通システムの実現に向け検討します。	□実施済み又は本格実施中	計画	○らくなん道における新しいバスシステムの検討・導入 ○LRTの検討	○検討			
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○未来の公共交通推進会議の開催(3月)	○未来の公共交通推進会議の開催(3月)	○京都のまちにふさわしい公共交通について検討		
					■企画構想段階		6,000(0)(「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進)の一部を充当)	6,000(0)(「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進)の一部を充当)	10,000(0)	5,000(0)	
11	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	パークアンドライドの通年実施	郊外駅周辺の駐車場にクルマをとめ、公共交通に乗り換えることにより、都心地域に流入する自動車を減らすパークアンドライドを通年で実施します。	□実施前最終段階	計画	○通年実施の充実				
					□企画構想段階	イ進捗状況	○パークアンドライドの通年実施 ○京うららパークアンドライドの実施(4月) ○ハッピー・パークアンドライドの実施(12月) ○京都市都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月)	○パークアンドライドの通年実施(7駐車場を追加) ○京都市都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月)	○パークアンドライドの通年実施(2駐車場を追加) ○ハッピーパークアンドライドの実施(12月) ○京都市都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(10月)		
					□着手前		24,400(2,400)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)の一部を充当)	28,700(6,700)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)の一部を充当)	22,000(0)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)の一部を充当)	21,600(0)(「観光地等交通対策(「歩いてこそ京都」魅力満喫大作戦)の一部を充当)	★パークアンドライド通年実施箇所の収容台数(累積値) 2010年度:2,957台 2011年度:4,002台 2012年度:5,142台 2013年度:5,167台 2014年度: 2015年度:
12	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	駐車場施策の見直し	駐車需要に応じた駐車施設の適正な配置を図るとともに、歩くことを中心としたまちと暮らしの実現に寄与するよう自動車流入の抑制を図ります。	□実施前最終段階	計画	○駐車場条例の改正	○検討			
					□企画構想段階	イ進捗状況	○平成23年5月1日から施行	○既存駐車施設の有効活用に関する検討	京都市駐車場条例の改正(平成26年10月1日施行予定)		
					□着手前		0	0	2,300(0)	0	
13	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	タクシー交通の位置付けの明確化と効果的な活用の検討	タクシー駐停車マナーの向上や大量の空車タクシー走行による環境負荷低減に向けた具体策を検討します。	□実施前最終段階	計画	○タクシー駐停車マナー向上の取組	○見直し・充実			
					□企画構想段階	イ進捗状況	○経営者向けセミナーの実施(10月、12月) ○駐停車マナー向上に向けたアンケートの実施(3月)	○タクシー駐停車マナー向上に向けたアンケート及び利用者啓発の実施(1月～2月)	○京都市タクシー駐停車マナー向上マネジメント会議の開催(9月)		
					□着手前		16,000(4,562)【内、繰越分7,000】(「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進)の一部を充当)	39,700(1,782)【内、繰越分7,700】(「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進)の一部を充当)	37,620(15,235)【内、繰越額24,620】(「歩いて楽しいまちなか戦略」の一部を充当)	63,068(「歩いて楽しいまちなか戦略」の一部を充当)	
14	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	ロードプライシングの検討	特定の道路利用に対して直接的に課金し、交通需要を管理する方法であるロードプライシングの導入可能性について検討します。	□実施前最終段階	計画	○検討	○検討			
					□企画構想段階	イ進捗状況	○未来の公共交通推進会議の開催	○未来の公共交通推進会議の開催(3月)	○ロードプライシングをはじめとした自動車流入抑制策について検討		
					□着手前		6,000(0)(「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進)の一部を充当)	10,000(0)(「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進)の一部を充当)	5,000(0)	5,000(0)	
15	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	交通条件の公平化の検討	商業施設などにおいて、公共交通利用者へのサービス提供を進めるための制度の創設について検討します。	□実施前最終段階	計画	○検討	○実施			
					□企画構想段階	イ進捗状況	○高島屋京都支店での100円循環バス乗車券の配布 ○商業施設等において実施される公共交通利用促進策に対し、付置義務台数引き下げ規定を創設。(現在、4施設から適用について相談を受けている。) ○自家用車から公共交通機関への利用転換を促進するため、公共交通利用促進策の充実に向け検討。	○公共交通利用促進策による付置義務引き下げ規定の拡大(平成24年5月1日から施行)	○取組の推進		
					□着手前		1,800(0)	0	0	0	★公共交通利用者へのサービス提供を行う商業施設などの数(累積値) 2011年度:4件(相談) 2012年度:11件(相談)、6件(実績) 2013年度:8件(実績) 2014年度: 2015年度:

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)		平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標	
16	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	自動車交通の効率化と適正化	カーシェアリングの更なる普及	複数の会員が自動車を共同利用するカーシェアリングの更なる普及により、自動車の保有台数と走行距離の減少を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○実施				
						イ進捗状況	○カーシェアリング事業の実施を通じて、普及のための課題の抽出、把握	○カーシェアリング事業の実施を通じて、普及のための課題の抽出、把握	○把握した課題をカーシェアリング事業者と共有し、事業者による本格的な事業の展開			
						ウ予算額(うち国)・千円	7,100(0)	8,000(0)	0	0		
						エ決算額(うち国)・千円	7,100(0)	7,890(0)				
17	2.「まちづくり」の取組(歩行者優先のまちづくり)	歩行者と共存可能な自転車利用環境の整備	自転車利用環境の整備	行政と事業者の連携協力による自転車等駐車場の整備や、自転車道や自転車レーンまたは既存の自転車歩行者道等の改築などによる通行環境の改善を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○自転車等駐車場の整備 ○自転車通行環境の整備	○見直し・充実	○充実 ○自転車通行環境整備 御池通(北側歩道:御池大橋～烏丸通、南側歩道:御池大橋～堺町通)	○自転車通行環境整備 204,904千円	★自転車事故件数(単年度値) 2009年:2,287件 2010年:2,198件 2011年:2,160件 2012年:1,760件 2013年:1,681件 2014年: ★本市関連の自転車等駐車場の収容台数(累積値) 2010年度:42,222台 2011年度:44,352台 2012年度:45,418台 2013年度:43,578台 2014年度: 2015年度:	
						イ進捗状況	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 12箇所797台 ・無料駐輪場の有料化再整備 1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 1箇所141台(平成24年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・自転車通行環境整備プログラム(案)の作成	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 9箇所554台 ・無料駐輪場の有料化再整備 1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 1箇所57台(平成25年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・御池通(御池大橋西詰～堀川通)詳細設計着手 ・烏丸通(丸太町通～御池通)工事 ・七条通(大宮通～千本通)詳細設計	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 10箇所593台 ・無料駐輪場の有料化再整備 2箇所3,346台 ○自転車通行環境の整備 ・七条通(大宮通～千本通)工事着手			
						ウ予算額(うち国)・千円	28,000(0)	114,000(39,450)	250,200(94,700)	41,300(6,400)		
						エ決算額(うち国)・千円	26,751(0)	52,610(12,340)				
18	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換)	『『歩くまち・京都』憲章』の普及・啓発	学校教育、シンポジウム、イベント、商業施設などでの普及・啓発	パンフレットや啓発グッズなどの配布、アナウンスやイメージ映像の放送などにより、学校、シンポジウム、イベント、商業施設などにおける継続的な普及・啓発活動を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施	○見直し・充実				
						イ進捗状況	○イベントを通じた普及・啓発の推進 ・「京都地下鉄まつり」(5月) ・左京ふれあいまつり(7月) ・醍醐ふれあいプラザ(9月) ・シンポジウム(12月)	○イベントを通じた普及・啓発の推進 ・らくさいさくら祭における普及・啓発(4月) ・京都市公営交通100周年記念フェスタでの普及・啓発(6月) ・第7回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)での普及・啓発(8月) ・第12回スロットとKANSAIバスまつりでの「歩くまち・トーク」の開催等による普及・啓発(9月)	○イベントを通じた普及・啓発の推進 ・らくさいさくら祭における普及・啓発(4月) ・第13回スロットとKANSAIバスまつりでの普及・啓発(9月) ・京都カーフリーデー2013での普及・啓発(9月)			
						ウ予算額(うち国)・千円	36,000(21,400)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当)	55,520(40,645)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当)	27,100(13,805)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当)	26,331(13,350)(「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当)		
						エ決算額(うち国)・千円	35,789(21,360)	52,257(39,085)				
						計画	○実施	○見直し・充実				
						イ進捗状況	○実施	○チラシの配布への協力	○チラシの配布への協力			
ウ予算額(うち国)・千円												
エ決算額(うち国)・千円												

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
19	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切に するライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	広報媒体などを活用したモビリティ・マネジメント	クルマ利用者に対して、ウェブサイトや広報媒体などを活用した啓発やアンケートなどのコミュニケーション手段を通じ、自発的な交通行動の変化を促します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施	○見直し・充実			
						イ進捗状況	○市民しんぶん区版(8月15日号)での挟み込み活用 ○市民しんぶん全市版(12月1日号)への掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(「笑福亭見瓶のほっかほかラジオ」番組内に「歩くまち・京都タイム」コーナーを設置(9月5日～12月2日、月曜～金曜) ○観光ガイドブック(るるぶ京都、まっぷる京都)への掲載	○市民しんぶん全市版(12月1日号)への情報掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(10月4日～3月29日、木・金曜) ○ABC京都ラジオを活用した情報発信(10月6日～2月16日、土曜) ○αステーションを活用した情報発信(スポット告知、ペイドパブリシティ告知) ○観光ガイドブック(関西ウォーカー)への掲載	○市民しんぶん全市版(12月1日号)への情報掲載 ○KBS京都ラジオを活用した情報発信(10月3日～3月28日、木・金曜) ○ABC京都ラジオを活用した情報発信(10月5日～2月22日、土曜) ○観光ガイドブック(歩くまち京都公式ガイド)への掲載		
						ウ予算額(うち国):千円	36,000(21,400)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	55,520(40,645)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	27,100(13,805)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	26,331(13,350)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	
						エ決算額(うち国):千円	35,789(21,360)	52,257(39,085)			
20	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切に するライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	「市民」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	市民を対象に、「家庭」「学校」「職場」などあらゆる機会を通じて、公共交通情報マップの配布やアンケート、環境学習の一層の推進、エコ通の推進などを実施し、交通行動スタイルの見直しを促します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施	○見直し・充実			
						イ進捗状況	○「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)アンケートの実施(対象数:20,135人) ○地域住民や大学、企業等と連携した参加型MMIに係る事業公募(9月3日～21日) ○転入者MMの実施に向けた検討	○自動車運転免許更新MM(4月～) ○学校MM(検討会 3回:6月、7月、9月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM ○地域住民や大学、企業等と連携した参加型MMIに係る事業公募(9月3日～21日) ○転入者MMの実施に向けた検討	○自動車運転免許更新MM(4月～) ○学校MM(検討会 4回:7月、8月、11月、2月) ○高齢者への運転免許返納を促すMM ○転入者MMの実施		
						ウ予算額(うち国):千円	36,000(21,400)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	55,520(40,645)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	27,100(13,805)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	26,331(13,350)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	
						エ決算額(うち国):千円	35,789(21,360)	52,257(39,085)			
21	3.「ライフスタイル」の取組(歩いて楽しい暮らしを大切に するライフスタイルへの転換)	「スローライフ京都」大作戦(プロジェクト)	「観光客」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	京都市への観光客を対象に、クルマを使わない観光の優位性を伝えることにより、公共交通を利用した観光を呼び掛けます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施	○見直し・充実			
						イ進捗状況	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月)	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月)	○「公共交通機関でおこしやすキャンペーン」の実施(10月～11月、3月～5月)		
						ウ予算額(うち国):千円	1,800(0)	1,800(0)	1,800(0)	1,848(0)	
					エ決算額(うち国):千円	1,800(0)	1,800(0)				
					■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施	○見直し・充実			
						イ進捗状況	○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施	○「公共交通でまわる京都観光マップ」の改良 ○「市営駐車場におけるモビリティ・マネジメント」の継続実施		
ウ予算額(うち国):千円	6,000(21,400)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	5,520(40,645)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	27,100(13,805)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当	26,331(13,350)「スローライフ京都」大作戦(モビリティ・マネジメント推進)」の一部を充当							
エ決算額(うち国):千円	35,789(21,360)	52,257(39,085)									
22	4. エコカーへの転換	インフラ整備の推進	共同住宅、民間駐車場、商業施設などへの充電設備・水素ステーションの設置に対するインセンティブの付与の検討	民間事業者などによる充電設備や水素ステーションの設置に対してインセンティブを与える制度の創設や、新築建築物への充電設備の導入を進める仕組みを検討し、エコカーの普及に向けたインフラ整備を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○対応策の実施			★EV用充電設備設置数(累積値) 2010年度:106基 2011年度:137基 2012年度:172基 2013年度:197基 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○充電設備等の設置を促進するため、補助制度の創設も含めた有効な推進策の検討	○充電設備等の設置を促進するため、補助制度の創設も含めた有効な推進策の検討	○充電設備設置補助制度の創設		
						ウ予算額(うち国):千円	0	0	2,000(0)		
						エ決算額(うち国):千円	0	0	2,000(0)		

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像1. 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
23	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	特定事業者への導入義務化	条例に基づく特定事業者に対して、事業用の自動車を購入(リースを含む)する際に、一定割合以上をエコカーとすることを義務付けます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○義務制度の開始・計画期間中(H23～25年度)に取得する新車の総台数に対するエコカーの割合を50%以上とすることを義務付け、エコカーの普及の促進	○平成23年度に取得した新車の台数及びエコカーの内訳を示す新車購入等報告書の受理 (特定事業者が導入した新車のうち約64%がエコカー)	○平成24年度に取得した新車の台数及びエコカーの内訳を示す新車購入等報告書の受理 (特定事業者が導入した新車のうち約78%がエコカー)		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	7,500(0) 事業者排出量削減計画書制度 5,803(0)	7,700(0) 事業者排出量削減計画書制度 7404(0)	7,300(0) 事業者排出量削減計画書制度	10,000(0) 事業者排出量削減計画書	
24	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	自動車販売店に対するエコカー販売実績報告の義務化	自動車販売事業者に対して、エコカーの販売実績を報告することを義務付けます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○制度開始・顧客への新車販売時に自動車環境情報の説明、エコカー販売促進及び、新車販売実績報告書の提出	○平成23年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約4万8千台、うちエコカーの販売台数は約3万1千台)	○平成24年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約5万2千台、うちエコカーの販売台数は約3万9千台)		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	0 0	0 0	0 0	0 0	
25	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	電動バス・ハイブリッドバスなどの導入促進	次世代EV(電動)バスの実証実験などを踏まえたEVバスの実用化を進めるとともに、環境にやさしいハイブリッドバスなどの低公害車の導入を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討(EVバスの実証実験)		○導入(EVバスの実用化の検証)		
					□実施前最終段階	イ進捗状況	(EVバスの実証実験) ○途中充電のための停車に伴う乗客の意識調査と途中充電を踏まえた電動バスの走行距離の検証を行うための、EVバス運行に関する実証実験を実施。	○実証実験を踏まえ、メーカーによるEVバス実用化に向けた開発技術等の検討。	○実証実験を踏まえ、メーカーによるEVバス実用化に向けた開発技術等の検討		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	0 0	0 0	0 0	0 0	
					■実施済み又は本格実施中	計画	○ハイブリッドバスの導入				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○ハイブリッドバス7両導入	○ハイブリッドバス29両導入	○ハイブリッドバス10両導入 ○アイドリングストップバス27両導入		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	230,967(28,395) 227,991(19,978)	973,533(123,169) 937,302(126,333)	1,126,031(98,069) 868,861(44,391)	1,197,072(99,400)	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にすまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
26	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	特定建築物への地域産木材の利用義務化	条例に基づく特定建築物(延床面積2,000㎡以上の新増築建築物)の建築主に対し地域産木材の利用を義務付けます。	■実施済み又は本格実施中	計画		○実施			★特定建築物における地域産木材利用量 2010年度:制度開始前 2011年度:制度開始前 2012年度:279.4㎡ ³ 2013年度:897.4㎡ ³ 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換 ○京都市地球温暖化対策条例規則改正(3月) ・木材利用の基準について策定	○特定建築物の建築主に対し、地域産木材の利用義務化・届出の受付開始(4月～)	○特定建築物の建築主に対する地域産木材の利用義務に係る届出の受付		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	0 0	0 0	0 0	0 0	
27	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	公共施設への地域産木材の率先利用	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、地域産木材を積極的に利用します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 など ○環境共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく施設整備				★公共施設における地域産木材利用量(単年度) 2011年度:136㎡ ³ 2012年度:0.2㎡ ³ 2013年度:0.0㎡ ³ 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○市営住宅建設の基本計画の策定において、地域産材活用を推進	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において、地域産材活用を推進	○市営住宅建設において、地域産材活用を推進		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	設計費:18,332(10,389)の一部 6,909(3,110)の一部 ※翌年度繰越:9,900(6,600)	設計費・工事費:154,669(69,047)の一部 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越:114,648(48,393)	設計・工事費:305,932(135,442)の一部 工事費:979,594(520,423)の一部		
					□着手前						
					■実施済み又は本格実施中	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 など ○環境共生を主眼とした市営住宅整備指針に基づく施設整備				★公共施設における地域産木材利用量(単年度) 2011年度:136㎡ ³ 2012年度:0.2㎡ ³ 2013年度:0.0㎡ ³ 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○公共施設7施設に約136㎡ ³ 利用	○公共施設1施設に約0.2㎡ ³ 利用	○小学校3校で腰板として利用 ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	0 0	0 0			
					□着手前						
28	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	「CASBEE京都」による環境性能の評価が高い建築物の普及促進	京都らしい環境配慮建築物を適切に評価、誘導するためのシステムである「CASBEE京都」の表示を推奨(延床面積2,000㎡以上の特定建築物は義務化)し、環境性能の高い建築物の普及を図ります。さらに、既存建築物の評価システムの整備を行います。	■実施済み又は本格実施中	計画	○CASBEE京都の策定 ○認証制度の創設				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書類の審査(4月～) ○CASBEE京都(既存、改修)の策定業務、CASBEE京都の普及啓発にかかる検討(6月～) ○CASBEE京都(既存、改修)の策定完了(3月)	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書類の審査 ○CASBEE京都(既存、改修)の運用、届出書類の審査(6月～) ○「京(みやこ)環境配慮建築物」顕彰制度を創設	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書類の審査 ○CASBEE京都(既存、改修)の運用、届出書類の審査 ○CASBEE京都高評価表示プレートの交付		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	3,000(0) 2,993(0)	2,100(0) 1,660(0)	200(0)	555(0)	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
29	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	低炭素景観の保全・創造	歴史まちづくりの推進、京町家などの保全・再生・活用を促進するための情報の受発信の仕組みなど様々な保全・活用策を講じることにより、既存建築物の有効活用を図るとともに、地域の特性に応じたきめ細かなデザイン規制や時代をリードする質の高いデザインの誘導など、長く親しまれる建築物による市街地景観の形成を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				(全て単年度実績 26年3月末現在) ○姉小路界わいの地区街なみ環境整備事業(修理・修景等補助4件,活動助成1件) ○伝統的建造物群保存等事業(地区内での修理・修景等19件) ○歴史的町並み再生事業・景観重要建造物:指定3件,補助13件 ・歴史的風致形成建造物:指定4件,補助5件 ・その他:補助22件
						イ進捗状況	○市民とともに創造する景観づくりに関する仕組みの整備やデザイン基準の更なる充実、遠景デザイン保全区域の見直しなど、更に進化した景観政策を施行(4月) ○景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物の指定:17件(24年3月末現在) ○歴史的な町並みの保全・再生に係る補助:66件(24年3月末現在)	○姉小路界わいの街なみ環境整備事業に沿って、通り景観改善事業を行うとともに、まちづくりの一層の推進のため、協議会に対し活動助成を行う。 ○伝統的建造物群保存地区において、保存・再生に係る修理、修景について指導するとともに経費の一部を補助 ○歴史的な町並みの保全・再生を図るため、景観重要建造物や歴史的風致形成建造物等の修理、修景に係る経費の一部を補助及び景観重要建造物、歴史的風致形成建造物の指定。	○姉小路界わいの街なみ環境整備事業に沿って、通り景観改善事業を行うとともに、まちづくりの一層の推進のため、協議会に対し活動助成を行う。 ○伝統的建造物群保存地区において、保存・再生に係る修理、修景について指導するとともに経費の一部を補助 ○歴史的な町並みの保全・再生を図るため、景観重要建造物や歴史的風致形成建造物等の修理、修景に係る経費の一部を補助及び景観重要建造物、歴史的風致形成建造物の指定。		
							129,320(47,290)	127,160(47,290)	125,003(47,300)	126,850(50,214)	
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	122,889(47,290)	96,154(34,021)			
30	1. 地域産木材の活用	建築物の地域産木材利用	「平成の京町家」の普及促進	伝統的な京町家の知恵と現代的な環境技術が融合した京都型環境配慮住宅である「平成の京町家」の普及を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○平成の京町家普及促進事業	○本格実施			★平成の京町家認定戸数(単年度値) 2010年度:2件 2011年度:15件 2012年度:8件 2013年度:20件 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家コンソーシアムと連携した普及啓発事業の実施 ○平成の京町家普及啓発用パンフレットの作成 ○設計ガイドライン作成事業の実施(設計事例集・認定基準の解説書作成)	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家コンソーシアムと連携した普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場(「KYOMOJ」)の開設(11月) ○平成の京町家普及センターの開設(3月)	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家コンソーシアムと連携した普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場「KYOMOJ」の運営 ○平成の京町家普及センターの運営		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	18,000(4,500) 7,438(90)	37,300(6,750) 22,197(225)	24,825(4,500)	22,410(7,200)	
31	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなどの利用	木質ペレットストーブ・ボイラー・吸収式冷温水器の普及推進	木質ペレットを燃料とするストーブ、ボイラー、吸収式冷温水器を普及推進するため、導入支援策を実施します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○木質ペレットストーブ等普及促進事業				◎地域産木質ペレット利用量(単年度値) 2010年度:80トン 2011年度:340トン 2012年度:370トン 2013年度:700トン 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○木質ペレットストーブ等普及促進事業実施(6月～) ○木質ペレットストーブ43台、木質ペレットボイラー2台	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月～) ○木質ペレットストーブ45台、木質ペレットボイラー3台	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月～) ○木質ペレットストーブ58台、木質ペレットボイラー4台		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	19,000(19,000) 21,617(6,784)	35,000(0) 32,388(0)	35,000(0)	30,000(0)	
32	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなどの公共建築物への率先利用	木質ペレットなどの公共建築物への率先利用	京都市及び関係機関において、木質ペレット及び地域産木材を使った物品を積極的に利用します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 など				◎地域産木質ペレット利用量(単年度値) 2010年度:80トン 2011年度:340トン 2012年度:370トン 2013年度:700トン 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○「地域産材ストック情報システム検討委員会」開催(3回)(No.34 再掲) ○京都市木材利用基本方針策定準備	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市木材利用基本方針策定委員会による検討(25年2月～)	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	1,276(0) 1,132(0)	0 0	0 0	0 0	
					■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 など				
						イ進捗状況	○ペレット炊き吸収式冷温水発生器(35.3kW×1基)の設置	設置実績なし	○ペレット炊き吸収式冷温水発生機(冷凍能力105kw, 加熱能力83.4kw)1基及びペレットボイラー(定格出力349kw)1基の設置		
						ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円			0 0	0 0	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にすまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
33	1. 地域産木材の活用	間伐材や木質ペレットなどの利用	間伐材の供給に対する助成	木質ペレット原料用の間伐材の供給に対する助成制度を創設し、間伐材の需要拡大と森林の適切な整備を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★木質ペレット原料用間伐材供給助成件数(単年度値) 2010年度:0m3 2011年度:1,000m ³ 2012年度:1,100m ³ 2013年度:1,250m3 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○木質資源利用促進事業:ペレットの原料となる間伐材の搬入実施(7月～)	○木質資源利用推進事業:ペレットの原料となる間伐材の搬入実施(4月～)	○木質資源利用推進事業:ペレットの原料となる間伐材の搬入実施(4月～)		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	5,000(0) 2,000(0)	5,000(0) 2,200(0)	5,000(0)	4,200(0)	
34	1. 地域産木材の活用	木材利用者への情報提供	地域産木材ストック情報システムの整備	京都市地域産木材の利用促進を図るために、木材業界と連携し、工務店が必要とする木材について、供給状況が分かるストック情報システムを構築します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討 ○地域産材普及供給体制整備事業				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○「木の文化を具現化する推進委員会」開催(2回) ○「地域産材ストック情報システム検討委員会」開催(3回)	○「木の文化を具体化する推進委員会」開催(2回) ○地域産材ストック情報システムの運用(No.32再掲) ○京都市木材利用基本方針策定委員会による検討(25年2月～)(No.32再掲)	○「木の文化を具体化する推進会議」開催(2回) ○地域産材ストック情報システムの運用(No.32再掲) ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定(No.32再掲)		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	2,000(0) 1,702(0)	2,600(0) 2,362(0)	2,000(0)	1,600(0)	
35	1. 地域産木材の活用	木材利用者への情報提供	ウッドマイレージなどの評価	木材の産地から消費地までの輸送距離から算出される木材輸送に伴う二酸化炭素排出量(ウッドマイレージ)を評価します。さらに木質ペレットを含め、木材の生産から流通消費までを市民に見える形で評価し、情報発信する方法を検討します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○実施			
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○京都市地域産材「みやこ杣木」の認証マークを明示して利用を推奨する「京都市木材地産表示制度」により、木の地産地消を推進	○CASBEE京都の評価においてウッドマイレージCO ₂ に関する評価を実施(平成23年4月～) ○「京都市木材地産表示制度」により、木の地産地消を推進	○CASBEE京都の評価においてウッドマイレージCO ₂ に関する評価を実施 ○「京都市木材地産表示制度」により、木の地産地消を推進		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円					
36	2. 森林の適切な保全	森林整備	健全で多様な森林の育成	森林整備事業などによる健全な森林づくり、とりわけ間伐の必要な森林や放置された森林の整備の推進と森林認証制度の普及に努めるとともに、長伐期林、複層林、広葉樹林など多様な森林の整備を進めます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○森林整備事業の推進				◎森林面積(天然生林、育成林)(累積値) 2010年度:29,267ha 2011年度:29,350ha 2012年度:29,433ha 2013年度:29,517ha 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○森の力活性・利用対策 ～地球温暖化防止森林吸収源対策～:間伐及び作業路整備を実施(4月～) ○森林バイオマス活用推進事業:間伐及び作業路整備を実施(4月～)	○森の力活性・利用対策 ～地球温暖化防止森林吸収源対策～:間伐及び作業路整備を実施(4月～) ○森林バイオマス活用推進事業:間伐及び作業路整備を実施(4月～)	○森の力活性・利用対策 ～地球温暖化防止森林吸収源対策～:間伐及び作業路整備を実施(4月～)		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	80,900(0) 59,893(0)	61,800(0) 56,351(0)	56,600(0)	62,200(0)	
37	2. 森林の適切な保全	森林整備	三山森林景観保全・再生ガイドラインの推進	三山の森林景観を保全・再生するためのガイドラインに基づき、市民や事業者との協働による森林景観づくりを推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○ガイドラインに基づく森林景観づくりの推進				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○「京都市三山森林景観保全・再生ガイドライン」の策定(5月) ○シンポジウム「三山におけるこれからの森林景観づくり」の開催(11月)	○小倉山の森づくりを考える勉強会の開催(5月) ○小倉山森林再生事業に係る関係者会議の開催(9月) ○京都市森づくりアドバイザー制度を創設(11月) ○第2回シンポジウム「三山におけるこれからの森林景観づくり」開催(12月) ○「小倉山の森林再生に向けた意見交換会」の開催(12月)	○「小倉山の森林再生に向けた事業計画」策定(4月) ○「小倉山再生プロジェクト支援協定」締結(5月) ○第3回シンポジウム「三山におけるこれからの森林景観づくり」開催(11月) ○「小倉山再生プロジェクト支援協定」に基づく森づくり活動(3月)		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	1,000(0) 695(0)	11,000(5,000) 9,028(4,236)	11,000(5,000)	19,514(9,257)	
38	2. 森林の適切な保全	森林整備	森林整備の担い手となる人材の育成・確保	林業労働者の社会保障制度や技術研修制度の充実、森林組合などにおける森林整備班の養成を行うことにより、林業の担い手を確保し、森林整備に必要な体制の整備を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○林業担い手対策事業				★林業労働者長期就労日数(単年度値) 2010年度:11,627日 2011年度:12,015日 2012年度:12,624日 2013年度:12,507日 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の社会保障制度への加入助成)の実施	○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の社会保障制度への加入助成)の実施	○林業労働者共済事業(林業労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○緑の担い手育成事業(林業労働者の社会保障制度への加入助成)の実施		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	12,656(0) 10,616(0)	13,085(0) 12,196(0)	13,104(0)	13,466(0)	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にすまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
39	2. 森林の適切な保全	林業の振興	施業集約化の推進	地域産材を安定供給できる体制づくりを目指して、伐採、造林、保育を一体的、計画的、効率的に行う施業の集約化を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○地域産材を安定して供給できる体制の構築				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	89,972(0) 79,904(0)	92,201(0) 81,727(0)	92,112(0)	112,153(0)	
40	2. 森林の適切な保全	林業の振興	林業経営の効率化と低コスト化の推進	林業の生産性を高め、経営の効率化を図るため、密度の高い林内路網の整備と、地形・立地に適した高性能林業機械の導入を進めます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○密度の高い林内路網の整備、高性能林業機械の導入				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～)		
					□企画構想段階		○高性能機械1台導入	○高性能林業機械2台導入	○高性能林業機械1台導入		
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	89,972(0)(再掲) 79,904(0)(再掲)	100,201(0) ※うち92,201は再掲 90,237(0)	96,737(0) ※92,112(0)(再掲)	112,153(0) ※112,153(0)(再掲)	
41	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	森づくりサポーターの拡充	市街地周辺三山などの里山や京北合併記念の森を中心に、市民などの参画による森林の保全・整備などの活動を展開します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○伝統文化の森推進事業				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○京都伝統文化の森推進協議会の活動:市民参画イベント実施(5月, 10月, 12月, 3月)	○京都伝統文化の森推進協議会の活動:市民参画イベント実施(10月, 12月, 3月)	○京都伝統文化の森推進協議会の活動:市民参画イベント実施(4月, 10月, 12月, 3月)		
					□企画構想段階		○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(11月, 3月)	○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(6月, 11月)			
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	930(0) 930(0)	3,000(0) 3,000(0)	2,700(0)	2,700(0)	★森づくりサポーター登録者数(累積値) 2010年度:14団体 2011年度:15団体 2012年度:15団体 2013年度:15団体 2014年度: 2015年度:
42	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	里山など森林を活用した環境学習事業の展開	市民・事業者・大学参画による生態系保全型の森づくりシステムを構築し、豊かな森林資源を活用した環境学習などに活用する森林整備を行い、そのシステムを民有林全体に推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○生態系保全型の森づくりシステムの構築				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○森林の現状等に係る市民への普及啓発:森林ウォークの実施(7月, 12月)	○森林の現状等に係る市民への普及啓発:森林ウォークの実施(7月, 12月)	○森林の現状等に係る市民への普及啓発:森林ウォークの実施(9月, 12月)		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	0 0	500(0) 500(0)	500(0)	500(0)	★環境学習活動の実施回数(単年度値) 2010年度:0回 2011年度:2回 2012年度:1回 2013年度:2回 2014年度: 2015年度:
43	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	特定緑化建築物への緑化義務化	条例に基づく特定緑化建築物(敷地面積1,000㎡以上の新築・改築建築物)について、建築物及び敷地の緑化を義務付けることにより、市街地の緑化を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換	○特定緑化建築物の建築主に対し、建築物及び敷地の緑化を義務化・届出の受付開始(4月～)	○特定緑化建築物の建築主に対する建築物及び敷地の緑化義務に係る届出の受付		
					□企画構想段階		○京都市地球温暖化対策条例規則改正(3月) ・緑化基準の策定				
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	0 0	0 0	0	0	★特定緑化建築物数(累積値) 2010年度:制度実施前 2011年度:制度実施前 2012年度:105件 2013年度:218件 2014年度: 2015年度:
44	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	公共施設の緑化の推進	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、緑化を積極的に推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○市営住宅建設の基本計画の策定において、緑化を推進	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において緑化を推進	○市営住宅建設において、緑化を推進		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	設計費:18,332(10,389)の一部 6,909(3,110)の一部 ※翌年度繰越:9,900(6,600)	設計費・工事費:154,669(69,047)の一部 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越:114,648(48,393)	設計・工事費:305,932(135,442)の一部	工事費:979,594(520,423)の一部	
					□着手前						
					■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○2施設, 約136㎡の緑化	○4施設, 約761㎡の緑化	○2施設, 約244㎡の緑化		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円					

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
45	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	屋上緑化・壁面緑化に対する助成の充実	住宅や事業所などの民有地における緑化に対して助成することにより、民有地緑化の推進を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○京のまちなか緑化助成事業				★京のまちなか緑化助成件数(単年度値) 2010年度:15件 2011年度:21件 2012年度:16件 2013年度:13件 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○屋上緑化:3件, 30㎡, 助成237千円 ○壁面緑化:2件, 37㎡, 助成185千円 ○地上緑化:16件, 236㎡, 助成999千円	○屋上緑化:3件, 55㎡, 助成550千円 ○壁面緑化:2件, 16㎡, 助成80千円 ○地上緑化:11件, 160㎡, 助成706千円 ※壁面緑化のうち1件は、地上緑化も実施(件数に含まず)	地上、壁面緑化に「間口緑視率」を導入し、助成上限額の優遇を実施 申請件数 ○屋上緑化:1件, 22㎡, 助成:220千円 ○壁面緑化:0件 ○地上緑化:12件, 127㎡, 助成額:1,191千円		
							ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	6,000(0) 1,720(0)	5,760(0) 1,887(0)	4,920(0) 4,790(0)	
46	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	市民などとの協働による民有地緑化の推進	緑が少なく、緑化余地も少ない中心市街地において、緑化を義務化することにより、民有地緑化の推進を図ります。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 ■着手前	計画	○検討				
						イ進捗状況	検討中	○中心市街地における民有地緑化の推進について、他都市の状況の確認や、多制度との整合等の検討を実施	○中心市街地における民有地緑化の推進について、他都市の状況の確認や、多制度との整合等の検討を実施		
							ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円				
47	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	市民農園の整備などによる農地の有効活用	地域主導の市民農園モデルとなる総合体験型市民農園を整備し、市民が参加できる環境にやさしい都市型農業を振興します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				★市民農園区画数(累積値) 2010年度:3963区画 2011年度:4153区画 2012年度:4054区画 2013年度:集計中(7月頃判明) 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○総合体験型市民農園付帯設備(クラブハウス、バイオトイレ等)の設置(6月～9月) ○総合体験型市民農園開園(9月) ○入園者募集説明会(3月)	○総合体験型市民農園運営(4月～) ○各種農業イベント実施	○総合体験型市民農園の継続運営(4月～) ○各種農業イベント実施		
							ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	7,010(0) 2,479(0)	10,500(0) 1,750(0)	7,000(0) 7,000(0)	
48・49	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	水と緑のネットワークづくり	市街地周辺の山々や農地の緑、中心市街地における街路樹などの緑と、市内を貫流する河川の軸を骨格とした水と緑のネットワークを形成します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○「道路の森づくり」御池通(天神川～西大路通):ケヤキ49本、サルスベリ4本(1.4 km)植栽	○「鳥丸通・緑の道路環境整備事業(道路の森づくり)」 鳥丸通(丸太町～御池通):ケヤキ35本、サルスベリ11本植栽(0.7km)植栽	○「道路の森づくり」久世橋通(国道171号～国道24号)ケヤキ等164本植栽、葛野大路通(御池通～四条通)ケヤキ等51本植栽、御池通(西大路通～御前通)サルスベリ21本植栽 ○「鳥丸通・緑の道路環境整備事業(道路の森づくり)」 鳥丸通(御池通～五条通)ケヤキ等72本植栽		
							ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	16,000(0) 14,210(0)	34,000(0) 21,580(0)	216,000(22,280) 232,200(0)	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像2. 森を再生し「木の文化」を大切にすまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	才★年度:進ちよく指標
50	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	ヒートアイランド対策	水を活用した取組の推進	水の気化熱を利用して周辺の気温を下げる「打ち水」の実施拡大や、「ミスト装置」の普及促進に取り組み、ヒートアイランド現象の緩和につなげます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★打ち水実施数(単年度値) 2010年度:2 2011年度:2 2012年度:1 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○京都駅にて「DO YOU KYOTO?」プロジェクト『打ち水』(7月)	○8月1日の「水の日」に合わせて市民しんぶんで啓発(8月)			
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円					
					□着手前	エ決算額(うち国)千円					
					■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○上下水道局本庁前及び下水道部管路管理センター・支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2011実施(8月) ○可動式のドライ型ミスト装置2台を、通常は動物園に設置し(5月7日～10月2日)、イベント時には会場に移設(10箇所) ○100箇所の保育所、幼稚園、児童館及び市立小・中学校に、簡易型ミスト装置をモニター設置(7月1日～9月30日)	○水道創設100周年・公共交通100周年を迎えた両公営企業の共同記念事業として、ドライ型ミスト装置を多くの市民や観光客の皆様が利用される京都駅前市バスのりばに設置(7月～9月)「京(みやこ)の駅ミスト」 ○100箇所の保育所、幼稚園、児童館及び市立小・中学校に、簡易型ミスト装置をモニター設置(7月～9月)「スミくんと元気にミストシャワー」 ○上下水道局本庁前及び下水道管路管理センター・支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2012実施(8月1日水の日に合わせて) ○拡大打ち水大作戦本庁前及び管路管理センター・支所9営業所にて(門掃き時)雨水貯留タンク(雨水)及び高度処理水にて随時実施。(8月中)	○交通局、産業観光局と共同事業として、ドライ型ミスト装置と京都の伝統産業製品である京焼・清水焼の風鈴を多くの市民や観光客の皆様が利用される京都駅前市バスのりばに設置(7月～9月)「京(みやこ)の駅ミスト」 ○200箇所の保育所、幼稚園、児童館及び市立小・中学校に、簡易型ミスト装置をモニター設置(7月～9月)「スミくんと元気にミストシャワー」 ○京都ならではの夏の伝統行事、イベント開催の場にドライ型ミスト装置を設置「京(みやこ)のにぎわいミスト」 ○上下水道局本庁前及び下水道管路管理センター・支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2013実施(8月1日水の日に合わせて) ○拡大打ち水大作戦本庁前及び管路管理センター・支所9営業所にて(門掃き時)雨水貯留タンク(雨水)及び高度処理水にて随時実施。(8月中)		
	ウ予算額(うち国)千円	7,000(0)	7,000(0)	7000(0)	7,000(0)						
	エ決算額(うち国)千円	6613(0)	6,054(0)								

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像3. エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
51	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	「DO YOU KYOTO?クレジット(仮称)」制度の創設	国内クレジット制度やオフセット・クレジット制度などの国の制度の活用に加え、地域コミュニティや中小事業者が取り組みやすい京都独自のクレジット制度を創設し、温室効果ガス削減量という環境価値を「見える化」し、経済的に評価することにより、地域で循環・流通させる仕組みを構築します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				◎クレジット化された削減量(累積値) 2010年度:0トン 2011年度:159.6トン 2012年度:413.5トン 2013年度: 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?クレジット」制度の創設(8月) ○省エネに取り組む中小事業者・コミュニティの募集開始とプロジェクト登録を実施(8月～3月) ○クレジット認証を実施し、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月)	○省エネに取り組む中小事業者・コミュニティの募集とプロジェクト登録を継続実施(4月～) ○クレジット認証を実施、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月) ○DO YOU KYOTO?クレジット創出・活用促進協議会を立ち上げ、クレジットの創出・活用促進の取組について検討・実施	○省エネに取り組む中小事業者・コミュニティの募集とプロジェクト登録を継続実施(4月～) ○DO YOU KYOTO?クレジット創出・活用促進協議会において、引き続き、クレジットの創出・活用促進の取組について検討・実施		
							ウ予算額(うち国):千円 14,200(0)	19,525(0)	17,710(0)	6000(0)	
							エ決算額(うち国):千円 4,688(0)	3,530(0)			
52	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	特定建築物への再生可能エネルギーの導入義務化	条例に基づき、特定建築物の建築主に対し、太陽光発電設備などの再生可能エネルギー利用設備の設置を義務化します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
						イ進捗状況	○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換 ○京都市地球温暖化対策条例規則改正(3月)	○特定建築物の建築主に対し、再生可能エネルギー利用設備の設置を義務化(4月～) (平成24年度の再生可能エネルギー利用量 約578万MJ)	○特定建築物の建築主に対する再生可能エネルギー利用設備の設置義務に係る届出の受付 (平成25年度の再生可能エネルギー利用量 約511万MJ)		
							ウ予算額(うち国):千円 0	0	0	0	
							エ決算額(うち国):千円 0	0			
53	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	事業者排出量削減計画書制度における評価	条例に基づき、特定事業者に義務付けられている、温室効果ガス排出削減のための計画・報告書を市に提出する制度において、再生可能エネルギーの利用を評価します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
						イ進捗状況	○事業者排出量削減計画書制度の開始(H23～H25年度)をH23.9月末までに提出を求め、計画期間中(H23～25年度)に取り組まれる再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給について、温室効果ガス排出量から差し引いて評価を	○平成23年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書の受理	○平成24年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書の受理		
							ウ予算額(うち国):千円 7,500(0)	7,700(0)	7,300(0)	10,000	
							エ決算額(うち国):千円 事業者排出量削減計画書制度 5,803(0)	事業者排出量削減計画書制度 7404(0)		事業者排出量削減計画書	
54	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	太陽光発電設備及び太陽熱利用設備の導入に対する補助などの実施	太陽光発電設備などを設置する市民に対し、補助や融資を行います。	■実施済み又は本格実施中	計画	○補助(太陽光発電設備)	○太陽熱利用設備設置支援の検討			
						イ進捗状況	○助成の実施 ・申請件数:単年度1,571件(累計3,877件) ・設置件出力:単年度6,202kW(累計14,026kW)	○助成の実施 ・申請件数 太陽光:単年度1,780件(累計5,657件) 蓄電:単年度48件 太陽熱:単年度12件 ・設置出力 太陽光:単年度7,269kW(累計21,297kW)	○助成の実施 ・申請件数 太陽光:単年度1580件(累計7,237件) 蓄電:単年度81件(累計129件) 太陽熱:単年度15件(累計27件) ・設置出力 太陽光単年度6,325.5kW(累計27,623kW)		
							ウ予算額(うち国):千円 当初211,100(0)、9月補正100,000(0)	195,900(0)	201,100(0)	278,600(0)	
							エ決算額(うち国):千円 284,505(0)	160,232(0)	148,933(0)		
55	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	市民協働発電制度の実施	市民など協働で太陽光発電設備を設置する仕組みを構築します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○京のアジェンダ21フォーラムにおいて課題を検討	○京都市市民協働発電制度検討委員会の開催、検討報告書の受領 ○運営主体の決定 ○運営主体が出資者の募集を実施 ○第1号(公共施設3箇所)の稼働	○市民協働発電制度運営主体の決定(第1期(9月):5施設(うち、1施設は後に辞退)、第2期(12月):2施設) ○出資者の募集(2～3月) ○発電所の稼働(3月):4施設 ○太陽光発電屋根貸し制度運営主体の決定(第1期(12月):20施設、第2期(2～3月):2施設) ○発電所の稼働(3月):3施設		
							ウ予算額(うち国):千円 0	5,800(0)	3,800(0)	4,000(0)	
							エ決算額(うち国):千円 0	5,351(0)			

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像3. エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
56	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	新築住宅への再生可能エネルギーの導入義務化の検討	新築住宅に対して、再生可能エネルギーの導入を義務付けることを検討します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○検討				
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況	検討中	○国のエネルギー政策の動向を踏まえつつ、新築住宅への再生可能エネルギーの導入促進について検討	○国のエネルギー政策の動向を踏まえつつ、新築住宅への再生可能エネルギーの導入促進について検討		
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階						
					<input checked="" type="checkbox"/> 着手前	ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円					
57	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	公共建築物への再生可能エネルギー(太陽光、太陽熱、木質バイオマスなど)の率先導入	京都市が整備する公共建築物において、再生可能エネルギー(太陽光、太陽熱、木質バイオマスなど)を積極的に導入します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備				
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況	○市営住宅建設の基本計画策定において、再生可能エネルギーの導入を推進	○市営住宅建設において、再生可能エネルギー導入を推進			
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	設計費:18,332(10,389)の一部 6,909(3,110)の一部 ※翌年度繰越:9,900(6,600)	設計費・工事費:154,669(69,047)の一部 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越:114,648(48,393)	設計・工事費:305,932(135,442)の一部 工事費:979,594(520,423)の一部		
					<input type="checkbox"/> 着手前						
					<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○京都市公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備				
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況	○公共施設10施設に太陽光発電約130kW導入	○公共施設3施設に太陽光発電約95kW導入(市民協働発電) ○水垂立処分場へメガソーラー発電所(2,100kW×2基)を誘致	○市民協働発電制度(4施設約199kW)、屋根貸し制度(3件約60kW)、新山科浄水場(1MW)、鳥羽水環境保全センター(1MW)などを中心に公共施設18施設への太陽光発電約2403kW導入		
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円					
					<input type="checkbox"/> 着手前						
58	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	小水力発電の導入の推進	未利用エネルギーの中でも活用が期待される小水力発電について、導入可能性調査を行うとともに、新たな地域エネルギーとしての有効利用を図ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○検討				
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況	○調査委託業者の選定に向けた事業内容検討(4月～) ○プロポーザルによる委託業務受託業者選定・委託契約締結(9月) ○現地踏査・現地調査・詳細地点調査・事業可能性検討・報告書作成(～3月)	○琵琶湖疏水扇ダム放水路で実証実験を実施(3月)	○琵琶湖疏水扇ダム放水路のにおいてらせん型水車の設置の検討 ○琵琶湖疏水扇ダム放水路に伏見工業高校生徒製作による「らせん水車」を設置(3月)		
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	3,000(0) 2,993(0)	3,000(0)	※予算は「62. スマートシティ」に計上	※予算は「62. スマートシティ」に計上	
					<input type="checkbox"/> 着手前						
					<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○検討				
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況	○小水力発電の詳細設計に向けた内容の検討。	○小水力発電の詳細設計の実施(栗尾トンネル)	○小水力発電に係る工事を発注し、工事に着手した(栗尾トンネル)工期H25.11.1～H26.7.31 契約金14,310千円(税込)		
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円 エ決算額(うち国)千円	0 0	0 0	0 0(0)	17,200	
					<input type="checkbox"/> 着手前						

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像3. エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
59	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	使用済てんぶら油から精製したバイオディーゼル燃料の利用拡大	使用済てんぶら油をバイオディーゼル燃料として精製し、京都市のごみ収集車や市バスの燃料として活用します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★回収拠点数(累積値) 2010年度:1,577拠点 2011年度:1,647拠点 2012年度:1,686拠点 2013年度:1,759拠点 2014年度: 2015年度: ★使用済てんぶら油回収量(単年度値) 2010年度:193,172リットル 2011年度:195,512リットル 2012年度:195,822リットル 2013年度:192,842リットル 2014年度: 2015年度:
					イ進捗状況	○平成23年度以前から実施 ○平成23年度 バイオディーゼル精製量:130万リットル	○バイオディーゼル精製量:125万リットル	○バイオディーゼル精製量:127万リットル			
					□実施前最終段階						
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円	(歳出)154,534千円 (歳入)13,077千円	(歳出)150,223千円 (歳入)12,174千円	(歳出)147,824千円 (歳入)13,449千円	(歳出)136,240千円 (歳入)3,497千円	
					□着手前	エ決算額(うち国):千円	(歳出)135,604千円 (歳入)13,143千円	(歳出)133,401千円 (歳入)13,406千円			
					■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					イ進捗状況	○ごみ収集車:138台の燃料として活用	○ごみ収集車:137台の燃料として活用	○ごみ収集車:136台の燃料として活用			
					□実施前最終段階						
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国):千円					
						エ決算額(うち国):千円					
					■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					イ進捗状況	○市バス:93両の燃料として活用	○市バス:93両の燃料として活用	○市バス:93両の燃料として活用			
60	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	南部クリーンセンター第2工場建替え時におけるバイオガス化施設の併設	新たに建替え整備を行う第2工場では、従来から行っているごみ発電の更なる高効率化や、生ごみのバイオガス化を行い、ごみの持つエネルギー回収の最大化を図ります。	□実施済み又は本格実施中	計画	○工事に向けた調整・検討			○現地着工	
					■実施前最終段階	イ進捗状況	○循環型社会形成推進交付金に係る地域計画の事後評価 ○最新の他都市事例調査 ○メーカー及び学識者からの意見集積	○南部クリーンセンター第二工場整備事業者の選定に向けた準備	○南部クリーンセンター第二工場整備工事契約締結		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円	1,440(0)	2,500(0)	16,400(0)	377,000(161,000)	
						エ決算額(うち国):千円	1,421(0)	1,061(0)			
61	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	下水汚泥(メタンガス)の有効利用	下水汚泥からメタンガスを取り出し、燃料としての有効利用を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○利用方法等の検討				
					イ進捗状況	○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ○下水汚泥から発生する脱水ケーキを東部クリーンセンターで混焼し、ごみ発電に利用 ・計画利用量(約19%) (メタンガス: 2,646,050 Nm ³ (2,755ds-t) 約8 %、脱水ケーキ: 5,664t(3,568ds-t) 約11%) ※ 計画年間汚泥量 約33,377ds-t	○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ○下水汚泥から発生する脱水ケーキを東部クリーンセンターで混焼し、ごみ発電に利用 ・利用量(約18.4%) (メタンガス: 2,063,030Nm ³ (2,613ds-t) 約8.0 %、脱水ケーキ: 5,072t(3,398ds-t) 約10.4 %) ※ 年間汚泥量 約32,636ds-t	○下水汚泥から発生するメタンガスを焼却炉及びボイラーの補助燃料として利用 ・利用量(約8.6%) (メタンガス: 2,400,090Nm ³ (2,665ds-t) ※ 年間汚泥量 約31,028ds-t			
					□実施前最終段階						
					□企画構想段階						
					□着手前						
						ウ予算額(うち国):千円	0	0	0	0	
61	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	下水汚泥(メタンガス)の有効利用	下水汚泥からメタンガスを取り出し、燃料としての有効利用を図ります。		エ決算額(うち国):千円	0	0			

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像3. エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
62	2. 地域におけるエネルギーマネジメント	スマート・コミュニティの構築	らくなん進都、岡崎地域等における新たなエネルギーマネジメントシステムの構築	情報通信技術を活用して再生可能エネルギーを地域内で融通し合うスマートグリッドの構築に加え、交通の最適化や地域ぐるみのエコ行動の促進を含めたスマート・コミュニティの研究を行い、実証を進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○推進			
						イ進捗状況	○「スマートシティ京都研究会」の開催(3回:6月,8月,3月) ○岡崎地域、らくなん進都、職住共存地域分科会の開催(10回:岡崎3回,らくなん進都3回,職住共存4回) ○「スマートコミュニティ構想普及支援事業(経済産業省)」へ公募提案書提出(8月)事業選定(10月) ○「スマートシティ京都プロジェクト」ロードマップ案作成(3月)	○「スマートシティ京都研究会」の開催(8月) ○岡崎地域、職住共存地域分科会の開催(7回:岡崎4回,職住共存3回)	○「スマートシティ京都研究会」の開催(8月,3月) ○動物園へのBEMSの導入 ○国際交流会館への太陽光発電設置 ○次世代環境配慮型住宅の着工		
							ウ予算額(うち国),千円 6,500(0)	11,500(0)	75,800(15,000)	75,000(15,000)	
							エ決算額(うち国),千円 5,471(0)	9,942(0)			
63	2. 地域におけるエネルギーマネジメント	スマート・コミュニティの構築	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	新たな都市計画マスタープランを策定し、地域ごとの特性を生かすための多彩で个性的、かつ秩序ある土地利用の展開や地球環境への負荷の少ない集約的な都市機能の配置を図り、様々な都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画		○都市計画マスタープラン策定、推進	○都市計画マスタープランの推進		
						イ進捗状況	○平成24年2月22日新たな「京都市都市計画マスタープラン」策定	○公共交通拠点周辺における土地利用に関する調査	○京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の開催(6月, 9月, 11月, 12月, 1月, 3月) ○「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方(素案)」についてに対するパブリックコメントの実施 ○京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員課からの「駅周辺にふさわしい都市機能の集積のあり方について」(提言)の提出		
							ウ予算額(うち国),千円 10,500(0)	10,200(0)	7,500(0)	3,400(0)	
							エ決算額(うち国),千円 13,428(0)	4,258(0)			

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像4. 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標					
64	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	京朝スタイルの普及	「太陽が昇ったら起きて、沈んだら寝る」という自然のサイクルに沿った、京都発の、健康的で環境にもやさしい朝型のライフスタイルを推奨する取組である「京朝スタイル」の普及を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○事業実施(京朝スタイル月間の取組)	○見直し・充実	○見直し・充実	○見直し・充実						
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○朝講座の開設(9～10月) ○Facebook及びホームページでの朝に関する情報発信(7月～)	○朝講座の開設(7～9月) ○京朝写真コンテストの開催(7～9月) ○SNS及びホームページでの朝に関する情報発信(7月～)	○SNS及びホームページでの朝に関する情報発信(4月～)							
					□企画構想段階											
					□着手前	ウ予算額(うち国),千円 1,000(0)	1,000(0)	0	0							
					エ決算額(うち国),千円 1,000(0)											
65	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	多様なメディアを積極活用した普及啓発	印刷物への掲載や広報発表に加えて、インターネットやテレビなど、市民に深く浸透しているメディアを積極活用した普及啓発を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○実施			★市民生活実感調査 (省エネや省資源に取り組むお店や買い物客、公共交通機関を利用する人が増えている。) (単年度値) 2010年度:46.3% 2011年度:56.5% 2012年度:56.1% 2013年度:59.7% 2014年度: 2015年度:					
					□実施前最終段階	イ進捗状況	ODO YOU KYOTO? ホームページの制作(3月)	ODO YOU KYOTO? ホームページによる情報の発信(4月～)	ODO YOU KYOTO? ホームページによる情報の発信(4月～)							
					□企画構想段階											
					□着手前	ウ予算額(うち国),千円 1,500(0) エ決算額(うち国),千円 1,500(0)	500(0)	500(0)	0(0)							
						計画	○検討	○実施								
						イ進捗状況	○実施中 市民しんぶん、テレビ、ラジオ、電光掲示板において実績あり。 ○実施 商業紙への環境関連広告の掲載及び京都市情報館への啓発情報の掲載を行った。 ウ予算額(うち国),千円 0(0) エ決算額(うち国),千円 0(0)	○市民しんぶん 7月1日号1面(節電)、2月1日号8・9面(DO YOU KYOTO?)他。 ○テレビ 7月22日特集(クールスポット)、8月5日市政ニュース(エコマネー)他。 ○ラジオ 4月26日市政ニュース(太陽エネルギーの利用促進)、1月26日市長出演番組(エコストア実験)他。 ○電光掲示板 環境月間や節電の啓発他。 ○映画 節電をテーマとした映像を約2箇月間上映他。 ○京都市情報館 トップページでの節電の啓発他。 ○きょうと動画情報館 「DO YOU KYOTO?クレジット制度」を紹介した動画を制作・配信。 ○京都市生活ガイドブック「暮らしのてびき」 「DO YOU KYOTO?」等について誌面で紹介 他。 ○商業誌 節電の啓発 他。	○市民しんぶん 5月1日号16面(太陽光発電設備への助成)、6月1日号2面(省エネ・節電の専門家派遣)、8・9面(環境月間)他。 ○ラジオ 市政ニュース・PRスポット・市長出演番組で「DO YOU KYOTO?」「節電」「太陽光発電設備への助成」等の取組紹介・啓発。 ○市民ニュース(ポスター版・テーブルtent版) ポスター版・テーブルtent版で「節電」「太陽光発電設備への助成」等の取組紹介・啓発。 ○電光掲示板 環境月間や地球温暖化防止月間、節電等の取組紹介・啓発。 ○映画 「ごみ減量」をテーマとした映像を約3箇月間上映。 ○商業誌(「月刊京都」) クールスポットの取組紹介。 ○京都市情報館 トップページでの節電の啓発他。 ○きょうと動画情報館 「DO YOU KYOTO?」を紹介した動画を制作・公開。 ○暮らしのてびき 「DO YOU KYOTO?」等について誌面で紹介 ○SNS 「公式」京都市情報館Facebook版、Twitter			0(0)	0(0)	0		
					66	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	「DO YOU KYOTO?デー」における取組の推進	京都議定書が発効した2月16日を記念し、毎月16日を「DO YOU KYOTO?デー」と定め、この日を中心にライトダウンやノーマイカーデーなど、環境にやさしい取組を市民や事業者とともに実践します。	■実施済み又は本格実施中		計画	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト147万人推進事業			
□実施前最終段階	イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?プロジェクト」関連事業への参加者46,686人、協力229社 ○「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスの運行	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト関連事業への参加者104,262人、協力239社 ○「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスの運行	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト関連事業協力251社 (※関連事業への参加者数は現在集計中) ○「DO YOU KYOTO?」ラッピングバスの運行及び地下鉄への広告掲出 ODO YOU KYOTO?ウィークの実施(2/11～2/23)												
□企画構想段階																
□着手前	ウ予算額(うち国),千円 15,800(0) エ決算額(うち国),千円 15,067(0)	13800(0)	14,100(0)	14,100(0)												

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像4. 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
67	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	「大学のまち京都・学生のまち京都」の学生の力を活用したエコ活動の推進	人口の約1割に当たる学生が在籍する京都の特性を踏まえ、学園祭などのイベントにおける京都市との協働など、学生の力を活用した取組を推進します。	□実施済み又は本格実施中	計画	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施	○実施			★協力大学数 2010年度:不明 2011年度:不明 2012年度:不明 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○大学生を対象としたエコ・ワークショップの開催。参加者30名 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援	○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援 ○環境活動団体の取組支援	○大学生を対象としたライフスタイルに関するアンケート調査実施。 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円	140(0)	0	1,000(0)	3200(0)	
					■着手前	エ決算額(うち国)千円	140(0)	0			
					□実施済み又は本格実施中	計画	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施	○実施	○実施	○実施	
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○検討 ※京都学生祭典への支援は継続実施	○京都学生祭典への支援を実施	○京都学生祭典への支援を実施		
68	1. エコ生活の普及促進	エコを楽しく格好よく	エコドライブの推進	燃料消費量の少ない運転方法であるエコドライブについて、広く一般ドライバーへの普及を図ります。	□企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円	5,500(0)	5,500(0)	5,500(0)	5,500(0)	
					■着手前	エ決算額(うち国)千円	5,500(0)	5,500(0)	5,500(0)	5,500(0)	
					□実施済み又は本格実施中	計画	○エコドライブ推進事業	○エコドライブ推進事業			
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○エコドライブ教室の開催(11月、3月)	○エコドライブ教室の開催(1月)	○エコドライブ教室の開催 ○市内教習所でのエコドライブ講習(委託)		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円	7,011(0)	6,975(0)	4418(0)	3841(0)	
					■着手前	エ決算額(うち国)千円	6,587(0)				
69	1. エコ生活の普及促進	エコで健康に	農林水産物の地産地消と「京の待ち食」の普及・推進による環境に配慮した食生活の普及	旬の時期を待って地元食材を食べる「京の待ち食」の普及や、環境に配慮しながら「買い物」・「料理」・「片づけ」を行うエコクッキングなどの取組を通して、食材の生産・輸送・調理に使用するエネルギー量を低減し、環境負荷の小さい食生活の普及を図ります。	□企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円	158,372(0)の一部	149,338(0)の一部	148,338(0)の一部	152,577(0)の一部	
					■着手前	エ決算額(うち国)千円	158,372(0)の一部	149,338(0)の一部			
					□実施済み又は本格実施中	計画	○森と海と暮らしの連環プロジェクト、京の食文化普及啓発事業	○見直し・充実			
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○京エコロジーセンターにおけるエコクッキングの開催(18回) ○鴨川の天然アユの遡上数の確認(20,000尾)	○京エコロジーセンターにおけるエコクッキングの開催(35回)	○京エコロジーセンターにおけるエコクッキングの開催(30回)		
					□企画構想段階	ウ予算額(うち国)千円	167,500(167,500)	93,300(93,300)	15,000(15,000)	5,000(5,000)	
					■着手前	エ決算額(うち国)千円	159,599(159,500)	93,300(93,300)			

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像4. 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
70	1. エコ生活の普及促進	エコで健康に	歩行空間や自転車利用環境の整備	地球温暖化対策だけでなく、観光振興や健康面のサポートという観点から、徒歩や適正な自転車利用を推進するための環境の整備を行います。	■実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○京都一周トレイル運営など	○見直し・充実			★市民生活実感調査 (省エネや省資源に取り組むお店や買い物客、公共交通機関を利用する人が増えている。) (単年度値) 2010年度:46.3% 2011年度:56.5% 2012年度:56.1% 2013年度:59.7% 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況		○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、ワークショップ等を行い、エコツーリズムの普及啓発を実施。	○京のアジェンダ21フォーラムが参加する京都カーフリーデー実行委員会において、京都カーフリーデー2013を実施。	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	
						ウ予算額(うち国)千円		京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	
						エ決算額(うち国)千円		京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部		
					■実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○京都一周トレイル運営など	○見直し・充実			
						イ進捗状況	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※全コースマップの日英併記化を完了(9月)	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※英語版ダイジェストコースマップの作成・販売(11月)	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※東山コース・西山コースの道標の英文表記化の実施		
						ウ予算額(うち国)千円	3,100(0)	2,600(0)	2,600(0)	2,600(0)	
						エ決算額(うち国)千円	3,100(0)	2,600(0)			
					■実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○自転車等駐車場の整備 ○自転車通行環境の整備	○見直し・充実			
						イ進捗状況	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 12箇所797台 ・無料駐輪場の有料化再整備 1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 1箇所141台(平成24年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・自転車通行環境整備プログラム(案)の作成	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 9箇所554台 ・無料駐輪場の有料化再整備 1箇所286台(平成24年4月供用開始) ・道路占用による整備 1箇所57台(平成25年3月供用開始) ○自転車通行環境の整備 ・御池通(御池大橋西詰～堀川通)詳細設計着手 ・烏丸通(丸太町通～御池通)工事 ・七条通(大宮通～千本通)詳細設計	○自転車等駐車場の整備 ・京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度の活用による整備 10箇所593台 ・無料駐輪場の有料化再整備 2箇所3,346台 ○自転車通行環境の整備 ・七条通(大宮通～千本通)工事着手	41,300(6,400)	
						ウ予算額(うち国)千円	28,000(0)	114,000(39,450)	250,200(94,700)		
						エ決算額(うち国)千円	26,751(0)	52,610(12,340)			
71	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	子どもへの環境教育の推進	子どもの夏休みや冬休みなどを利用して、家族ぐるみで省エネに取り組んでもらう「こどもエコライフチャレンジ」や、学校のエコスクール化などの取組を通して、将来を担う子どもたちへの様々な環境教育を推進します。	■実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○こどもエコライフチャレンジ推進事業など				★エコチャレ実施学童数(単年度値) 2010年度:11,200名 2011年度:11,100名 2012年度:11,000名 2013年度:11,000名 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○「こどもエコライフチャレンジ」全市立小学校にて実施	○「こどもエコライフチャレンジ」全市立小学校にて実施中	○「こどもエコライフチャレンジ」全市立小学校にて実施中	22,356	
						ウ予算額(うち国)千円	21,247(0)	20,356(0)	20,856(0)		
						エ決算額(うち国)千円	20,511(0)	19,904(0)			
					■実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画	○こどもエコライフチャレンジ推進事業など				
						イ進捗状況	・市立朱雀第四小学校エコ改修工事契約業者 建築工事:京和産業(株)H23.7.20契約 機械設備工事:(株)辻村工業所H23.7.21契約 電気設備工事:(株)鎌電H23.8.1契約 ・屋上断熱等改修工事の実施	○こどもエコライフチャレンジ推進事業などの実施 ○環境に配慮した学校施設の長寿命化事業 ・着工(3校) ○屋上断熱等改修工事を7校で実施(3月)	○京都市立小中学校体育館防災機能強化等整備事業 ・設計着手(改築2校・リニューアル3校) ○環境に配慮した学校施設の長寿命化事業 ・着工(3校) ○屋上断熱等改修工事を3校で実施	(長寿命化事業)1,175,200千円 (屋上断熱等改修)164,000千円	
						ウ予算額(うち国)千円		(長寿命化事業)939,100千円 (屋上断熱等改修)79,695千円	(長寿命化事業)1,025,200千円 (屋上断熱等改修)45,000千円 (体育館整備事業)332,700千円		
						エ決算額(うち国)千円		(長寿命化事業)440,754千円			
					■実施済み又は本格実施中 <input type="checkbox"/> 実施前最終段階 <input type="checkbox"/> 企画構想段階 <input type="checkbox"/> 着手前	計画					
						イ進捗状況					
						ウ予算額(うち国)千円					
						エ決算額(うち国)千円					

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像4. 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
72	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	総合環境情報誌の作成・全戸配布	地球温暖化対策の視点を盛り込んだ総合環境情報誌を作成し、全戸配布を行うことにより、市民一人ひとりの意識啓発を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○配布・周知				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保存版」に係る追記版を市民しんぶん区版へ挟み込み、全戸配布を実施。(3月)	○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保存版」を全戸配布済み			
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	3,550(0) 2,889(0)				
73	1. エコ生活の普及促進	エコを学ぶ	京エコロジーセンターを中心とするエコ学習の展開と人材育成	COP3開催の記念館である京エコロジーセンターを中心としてエコ学習を展開することにより、地球温暖化対策に対する意識の向上を図ります。また、京エコロジーセンターのボランティア活動を通して、環境問題に主体的に取り組む市民を育てていきます。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★京エコロジーセンター来館者数(単年度値) 2010年度:68,881人 2011年度:87,434人 2012年度:96,377人 2013年度:94,546人 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○平成23年度以前から実施・環境ボランティア登録数:136(エコメイト55, エコサポーター81)名	○環境ボランティア登録数:145(エコメイト51, エコサポーター94)名	○環境ボランティア登録数:155(エコメイト47, エコサポーター108)名		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	158,372(0)の一部 158,372(0)の一部	149,338(0)の一部 149,338(0)の一部	148,338(0)の一部	152,577(0)の一部	
74	2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の推進	地域ぐるみのエコ活動	エコ学区、エコ商店街、エコ大学など新たな「エコ・コミュニティ」の創設	地域活動の基本単位である学区や商店街を対象に、地球温暖化対策を地域ぐるみで集中的に取り組む「エコ・コミュニティ」を新たに創設するとともに、京都市の人口の約1割に相当する学生の力を活用した温室効果ガス排出量削減の取組を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○低炭素のモデル地区「エコ学区」事業など	○見直し・充実			◎エコ学区における削減量測定の予定世帯数(単年度) 2010年度:制度開始前 2011年度:150世帯 2012年度:150世帯 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○各区・支所管内で1箇所ずつ計14箇所のエコ学区を認定(7月) ○くらしの匠事業 2学区実施 ○うちエコ診断事業 5学区実施 ○地域実験事業 7学区実施	○情報交流会の開催(6月) ○くらしの匠事業 2学区実施 ○うちエコ診断事業 5学区実施 ○地域実験事業 7学区実施	○エコ学区数 163学区 ○うちエコ診断、くらしの匠、学習会実施中		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	29,300(0) 25,487(0)	29,300(0) 26,893(0)	44,100(0)	38,800(0)	
75	2. 地域コミュニティにおけるエコ活動の推進	地域ぐるみのエコ活動	各区におけるエコ活動支援事業の推進	各区の環境パートナーシップ事業など、各区におけるエコ活動支援事業を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○各区環境パートナーシップ事業など				平成24年度をもって事業終了
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○各区からの事業提案を審査し、助成金を令達(5月) ○市民活動団体と区役所が協働して事業を実施(5月～3月)	○各区からの事業提案を審査し、助成金を令達(4月) ○市民活動団体と区役所が協働して事業を実施(4月～)			
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	7,000(0) 6,629(0)	7,000(0) 6,580(0)	0	0	
					■実施済み又は本格実施中	計画	○各区環境パートナーシップ事業など				★実施イベント数(単年度値) 2011年度:42イベント 2012年度:58イベント 2013年度:60イベント 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○42イベント実施	○58イベント実施			
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	7(0)	7(0)			
76	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	住宅の低炭素化の推進	既存住宅における省エネ改修の支援拡大の検討	自ら居住する住宅のエコリフォームを行う費用について、金融機関と連携して、低利率で融資をあっせんするなど、既存住宅を対象に、省エネ改修に対する支援の拡大を検討します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○実施 ※エコリフォーム推進事業 など			★省エネ化による固定資産税減額対象数(単年度(新規)) 2010年度:15 2011年度:30 2012年度:20 2013年度:15 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○エコリフォーム融資の創設及び受付開始(4月～) ○融資件数:17件	○京都府との協調により、融資件数の拡大、融資限度額の増額、融資利率の通年固定化、対象用途の拡大(4月～) ○融資件数:68件	○エコリフォーム融資の実施(4月～) ○融資件数 47件		
					□企画構想段階						
					□着手前	ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	45,000(0) 37,400(0)	120,000(0) 32,900(0)※	140,000(0)	○既存住宅の省エネルギー等支援事業 142,400(54,000)	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像4. 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
77	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	住宅の低炭素化の推進	省エネ住まいアドバイザー制度の創設	住宅の省エネ改修について、技術的なアドバイスを行える人材を養成するとともに、京都らしい環境配慮の方策も含め、市民が安心して住宅の省エネ改修に関する技術的な相談を行える環境を整備します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○創設			★省エネ化による固定資産税減額対象数(単年度(新規)) 2010年度:15 2011年度:30 2012年度:20 2013年度:15 2014年度: 2015年度:
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況		○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」を設置し、今後の実施体制等について協議。 ○「家庭の省エネアドバイザー養成研修会」を開催(16名参加、 ○「家庭の省エネ相談所」を開設(21箇所1,297名相談)	○京のアジェンダ21フォーラムが事務局を務める、「家庭の省エネ相談所協議会」が「家庭の省エネ相談所」を開設(28所、相談件数1,426件)		
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階			京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	
					<input type="checkbox"/> 着手前			京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部		
					ウ予算額(うち国):千円						
					エ決算額(うち国):千円						
78	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	家庭における省エネ診断の拡充	省エネの専門家が専用のツールを用いて、各家庭の二酸化炭素排出状況を「見える化」し、削減余地の大きいものに対して集中的に対策の提案を行うなど、各家庭の様々なライフスタイルに応じたオーダーメイドの対策を実施し、確実な二酸化炭素削減を図ります。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○検討 ※環境家計簿はインターネット版で継続	○実施			★省エネ診断実施数(単年度値) 2010年度:0 2011年度:300 2012年度:322 2013年度:206 2014年度: 2015年度:
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況	(インターネット版環境家計簿) ○①企業やグループ単位での取組を促進するため②お試し機能を追加し、気軽に取り組みやすくするため、インターネット版環境家計簿の改良を実施 ○うちエコ診断を低炭素のモデル地区「エコ学区」事業の一部として実施	○インターネット版環境家計簿の継続実施 ○うちエコ診断を低炭素のモデル地区「エコ学区」事業の一部として実施	○インターネット版環境家計簿の継続実施 ○うちエコ診断を「エコ学区」事業として実施		
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階						
					<input type="checkbox"/> 着手前						
					ウ予算額(うち国):千円		0	0	0	0	
					エ決算額(うち国):千円		0	0	0	0	
79	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	省エネラベル制度の拡充の検討	現在、エアコン・電気冷蔵庫・テレビ・蛍光灯照明器具・電気便座の5種類の家電製品を対象としている省エネラベル制度の拡充を検討します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○検討	○対象の拡大			★省エネラベル制度対象製品数(累積値) 2011年度: 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況	検討中	○国の省エネラベリング制度(8種)等の普及・啓発	○国の省エネラベリング制度(8種)等の普及・啓発		
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階						
					<input type="checkbox"/> 着手前						
					ウ予算額(うち国):千円						
					エ決算額(うち国):千円						
80	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	既存住宅の環境配慮性能を表示する制度のあり方の検討	既存の住宅に対して、環境配慮性能を表示する制度のあり方を検討します。	<input type="checkbox"/> 実施済み又は本格実施中	計画	○検討※CASBEE京都と住宅性能評価制度との整合を図る	○実施			★省エネ化による固定資産税減額対象数(単年度(新規)) 2010年度:15 2011年度:30 2012年度:20 2013年度:15 2014年度: 2015年度:
					<input type="checkbox"/> 実施前最終段階	イ進捗状況	○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、勉強会の開催を検討	○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、勉強会を開催	○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、勉強会を開催		
					<input type="checkbox"/> 企画構想段階			京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	
					<input type="checkbox"/> 着手前			京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部	京のアジェンダ21フォーラム推進費17,132(0)の一部		
					ウ予算額(うち国):千円		20,634(0)の一部				
					エ決算額(うち国):千円		20,634(0)の一部				

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像5. 環境にやさしい経済活動

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標	
81	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	京都府・経済界との連携による「京都産業育成コンソーシアム」の設立	府・市・経済界の枠組を超えた、「オール京都」による体制を構築し、環境、医療・健康、映画・コンテンツをはじめとする次代を担う成長産業の育成を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○「京都産業育成コンソーシアム」の設立	○共同プロジェクトの実施 など				
						イ進捗状況	○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○「きょうと産業人材育成情報サイト」をHPに開設(7月) ○「知恵産業支援施策ガイド」をHPに開設(1月) ○「人材育成・活用セミナー」(11月)、「知恵産業推進セミナー」(1月)を実施	○「Kyoto Japan」ロゴマーク登録事業者募集開始(5月) ○京都産業エコ・エネルギー推進機構設立(7月) ○知恵産業創造支援事業審査委員会運営(8月) ○京都・企業お役立ちナビの開設(8月) ○京都産業エコ・エネルギー推進機構シンポジウム実施(12月) ○京都産業エコ・エネルギー推進機構一般社団法人化(3月) ○「人材育成・活用セミナー」実施(3月)	○京都産学公連携機構の事務局をコンソーシアム内に設置(4月) ○京都知恵産業支援共同事業の立上げ(4月) ○知恵産業創造支援事業審査委員会運営(6月) ○京都産業エネルギー戦略部会設立(7月) ○機器活用オープンディ(8月)、活用機器見学会(8月、3月) ○機器活用HP開設(10月) ○「知恵ビジネスメッセ」(京都商工会議所主催)を共催(11月)			
						ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	2,800(0) 2,800(0)	4,000(0) 4,000(0)	4,000(0)	4,000(0)		
82	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	研究成果を生かした環境・エネルギー関連産業などの育成・振興	「環境ナノテクノロジー」をテーマに各種事業に取り組んできた京都環境ナノクラスター事業の成果を生かし、ベンチャー企業の創出や技術移転による事業化の促進を進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○京都環境ナノクラスター事業 ○京の環境みらい創生事業					
						イ進捗状況	○現在の研究成果の課題と今後の方向性を検討(4月～3月)	○平成20～24年度の事業期間において、目標とする75億円を上回る売上高104.6億円を達成。 ○圧倒的省エネルギーを実現するSiC MOSFETの開発とSiCデバイスの量産の実現 ○高感度・高耐久・高耐熱性を持った化合物半導体紫外線センサの開発	○二酸化炭素のエネルギー利用等を実現する「京都次世代エネルギーシステム創造戦略」が文部科学省公募事業の「地域イノベーション戦略支援プログラム」に採択。平成25年8月から事業開始。 ○革新的SiC/パワー半導体の社会実装の促進を目指す「クリーン・低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築」をJST公募事業の「スーパークラスタープログラム」に申請し、平成25年12月から事業開始			
						ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	643,500(580,000)(市負担額:41,500)	626,100(562,600)(市負担額:41,500)	地域イノベ:183,400(147,000) (京都市負担:29,000) スーパークラスター:315,000(315,000)	地域イノベ:219,473 (182,523) (京都市負担:27,500) スーパークラスター:350,000(350,000)		
83	1. 環境産業の振興・育成	産学公連携による環境技術の開発	付加価値の高い新産業を創造する京都版SBIRの推進	新技術・新製品開発に取り組む市内中小事業者や中小・ベンチャー企業の新技術を利用した事業活動を支援するため、京都の地域プラットフォーム支援体制の強みを生かした研究開発段階から販路開拓までを一貫して支援する仕組み(Small Business Innovation Research)を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○創設	○実施			
						イ進捗状況	○研究開発補助事業:5件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:5件採択(6月) ○ベンチャー企業目利き委員会:Aランク認定8社(9月、3月) ○オスカー認定審査委員会:認定8社(9月、2月)	○研究開発補助事業:4件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:3件採択(6月) ○ベンチャー企業目利き委員会:Aランク認定7社(9月、3月) ○オスカー認定審査委員会:認定12社(8月、3月)	○研究開発補助事業:6件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:3件採択(6月) ○ベンチャー企業目利き委員会:Aランク認定9社(9月、3月) ○オスカー認定審査委員会:認定11社(8月、3月)			
						ウ予算額(うち国)・千円 エ決算額(うち国)・千円	129,147(0) 124,248(0)	124,284(0) 120,998(0)	108,903(0)	102,073(0)		

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像5. 環境にやさしい経済活動

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
84	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	低炭素社会の実現を先導する環境知恵産業(環境エネルギー関連産業のブランド化	低炭素社会の実現に先導的な役割を果たす京都の環境・エネルギー関連産業の事業拡大支援と産業のブランド化を図ることを目的に情報発信を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○調査・実態把握	○プロモーション			
						イ進捗状況	○調査委託業者の選定に向けた事業内容検討(4月～) ○プロポーザルによる委託業務受託業者選定・委託契約締結(11月) ○試行アンケートの実施・環境産業マップ作成・委託業務完了(3月)	○調査報告(23年度)を踏まえ、今後の事業内容の検討	○京都企業グリーンイノベーション市場参入支援事業:8件採択(8月) ○グリーン産業創出調査事業委託事業者決定(7月) ○市・府・経済界で設立した「京都産業エコ・エネルギー推進機構」において、環境保全に係る製品開発等に対する補助事業の実施 ○平成25年度「京都エコスタイル製品」10件を認定(3月)		
						ウ予算額(うち国):千円	2,000(0)	0	20,000(0)	15,000(0)	
						エ決算額(うち国):千円	1,995(0)				
85	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	カーボン・フットプリントの活用による環境価値の「見える化」の促進	原材料の調達から製造、輸送、消費後の廃棄に至るまでの過程で、電力や燃料の消費などを通してその商品が排出する温室効果ガスの量を積み上げ、二酸化炭素に換算して表示するカーボン・フットプリントの活用により、環境価値の「見える化」と低炭素商品の普及を促進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討	○実施			
						イ進捗状況	検討中	○カーボン・フットプリントの活用等による環境価値の見える化と低炭素商品の普及促進について検討	○京都市website上で、カーボン・フットプリントの活用等による環境価値の見える化と低炭素商品のページを作成し、普及を促進している。		
						ウ予算額(うち国):千円					
						エ決算額(うち国):千円					
86	1. 環境産業の振興・育成	事業拡大支援	グリーン購入の促進	製品やサービスを購入する際に、環境への負荷が少ないものを選んで購入するグリーン購入について、事業者としての京都市が率先して取り組みます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)	○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)	○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)		
						ウ予算額(うち国):千円	0	0	0	0	
						エ決算額(うち国):千円	0				
87	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	高効率機器の導入に対する補助	中小事業者の地球温暖化対策と省コストによる経営基盤強化を実現する高効率機器の導入に対する補助を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○省エネ診断の提案に基づいた省エネ設備導入を行う事業者を対象に、設備導入費用の一部を助成 ・省エネ設備整備事業補助金:8件 ・地域グリーンニューディール基金活用補助金:4件	○省エネ・節電診断の提案に基づいた省エネ及び節電に寄与する設備導入を行う事業者を対象に、設備導入費用の一部を助成(4月申請受付開始) ・省エネ・節電設備整備事業補助金交付決定件数:12件	○中小企業が省エネ・節電診断にもとづき行う省エネ設備改修に要する経費の一部を補助することで、省エネ・節電を推進する。(省エネ・節電設備導入補助:8件)		
						ウ予算額(うち国):千円	16,697(5,439)	18,000(0)	18,000(0)	27,640(0)	
						エ決算額(うち国):千円	16,697(5,439)				
						計画	○実施				
						イ進捗状況	○中小事業者を対象に、省エネ・節電アドバイザーが事業所を訪問し、省エネ及び節電の取組の「気づき」や「きっかけ」を与え、きめ細やかな支援を実施。 ○中小事業者を対象に省エネ・節電設備、再エネ設備導入費用の一部を補助。	○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ計測・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)			
88	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	環境配慮活動に対する低利融資	環境に配慮した事業活動を行う事業者に対する低利融資制度の充実を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施	○実施	○実施		
						イ進捗状況	○環境保全資金融資制度融資の受付(4月～) ○環境経営促進金利優遇制度の実施(4月～) ○融資実績:2件(継続)	○環境保全資金融資制度融資の受付(4月～) ○融資実績:2件(継続)	○環境保全資金融資制度融資の受付(4月～) ○融資実績:1件(継続)		
						ウ予算額(うち国):千円	62,940(0)	63,809(0)	41,696(0)	25,379(0)	
						エ決算額(うち国):千円	7,300(0)	5,600(0)	4791		

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像5. 環境にやさしい経済活動

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
89	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	低炭素型経済活動を推進する人材の育成と助言・診断の仕組みの充実	KESなどの環境マネジメントシステムの取組を促進するアドバイザーの派遣や、低炭素型経済活動を推進する人材の育成を図るセミナーを開催するとともに、「省エネ診断事業」をはじめとする事業者への支援の充実を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				★省エネ診断件数(単年度値) 2010年度:30件 2011年度:30件 2012年度:30件 2013年度:44件 2014年度: 2015年度:
						イ進捗状況	○市内の中小事業者を対象に省エネアドバイザーを派遣 ・市内の中小事業者を対象に省エネに関する専門的な知識を有したコンサルタント事業者を派遣し、エネルギー使用の改善策を提案 ○市内事業所の経営者・施設管理責任者等を対象とした省エネに関するセミナーを開催 開催日:12/8(木) 受講者数:28名	○市内の中小事業者を対象に省エネ・節電アドバイザーを派遣し、事業者が抱える潜在的な省エネルギーや節電の課題を明らかにするとともに、その問題の解決に取り組むべき方策などのアドバイスを実施(72件)。 ○市内の中小事業者を対象に省エネ及び節電に関する専門的な知識を有したコンサルタント事業者を派遣し、エネルギー使用の改善策を提案する。(30件)	○省エネ・節電アドバイザーが主に民生・業務部門事業所を訪問し、事業所に応じた最適なアドバイスを行うことで、事業者者に「気づき」や「きっかけ」を与えるとともに、省エネ・節電に関する様々な制度等についての情報提供を実施。(37件)。 ○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ計測・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)		
						ウ予算額(うち国):千円	9,243(0)	省エネ・節電診断:6,228(0)	省エネ・節電診断:6,500(0) 省エネ・節電アドバイザー:2,700(0)	省エネ・節電診断:6,500(0)	
						エ決算額(うち国):千円	8,834(0)	省エネ・節電診断:6,227(0)			
90	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	ノンフロン製品(業務用冷蔵・冷凍機器など)の普及促進	強力な温室効果ガスである代替フロンを冷媒として使用しない業務用冷蔵・冷凍機器など、低炭素化につながる機器の優先導入に関する普及啓発を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	検討中	○ノンフロン製品の普及促進について検討	○ノンフロン製品について、固定資産税の特例措置(4分の3軽減)を設けた。 ○京都市website上で、ノンフロン製品の普及促進のためのページを作成。		
						ウ予算額(うち国):千円					
						エ決算額(うち国):千円					
91	2. 企業における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	事業者排出量削減計画書制度における総合評価制度の導入と低評価の場合の追加削減対策	特定事業者に作成及び提出を条例により義務付けている事業者排出量削減計画書制度において、排出削減量(率)、エネルギー効率改善、削減対策の取組内容、低炭素型社会の形成に貢献する製品・サービスの供給など、事業活動の低炭素化に向けた取組を総合的に評価し、自主的な排出削減の更なる促進を図ります。 また、削減対策が不十分な低評価の特定事業者に対しては、クレジットの購入によるカーボン・オフセットの実施を促すなど、追加削減対策の指導助言を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○義務制度の開始 ・事業者排出量削減計画書の受理(～9月末) ・削減計画書の総合評価の実施、公表(3月) ・低評価事業者への訪問調査、エネルギー使用の合理化に資する措置等を指導・助言(15件、3月)	平成23年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書を受理 (平成23年度の目標値約181万トン(特定事業者147者の合計)に対し、約176万トンの実績)	平成24年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書を受理 (平成24年度の目標値約181万トン(特定事業者149者の合計)に対し、約173万トンの実績)		
						ウ予算額(うち国):千円	7,500(0) 事業者排出量削減計画書制度	7,700(0) 事業者排出量削減計画書制度	7,300(0) 事業者排出量削減計画書制度	10,000 事業者排出量削減計画書	
						エ決算額(うち国):千円	5,803(0)	7404(0)			
92	2. 企業における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	環境マネジメントシステムの導入義務化	特定事業者に対して、事業活動の低炭素化に向けた取組を強力に促すため、環境マネジメントシステムの導入を義務化します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○義務制度の開始 ・事業者排出量削減計画書制度の計画期間中(H23～25年度)にEMSを取得することを促進	平成23年度の環境マネジメントシステムの導入状況を示す環境マネジメントシステム導入報告書を受理 (特定事業者147者中103者が導入済み)	平成24年度の環境マネジメントシステムの導入状況を示す環境マネジメントシステム導入報告書を受理 (特定事業者149者中110者が導入済み)		
						ウ予算額(うち国):千円	7,500(0) 事業者排出量削減計画書制度	7,700(0) 事業者排出量削減計画書制度	7,300(0) 事業者排出量削減計画書制度	10,000 事業者排出量削減計画書	
						エ決算額(うち国):千円	5,803(0)	7404(0)			

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像5. 環境にやさしい経済活動

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
93	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	環境に配慮した観光の推進	京都において創出されたクレジットを活用し、京都観光に伴う温室効果ガス排出量の一部をオフセットする低炭素型のエコ観光や、地域固有の自然環境・歴史文化を学び、体験する、歩いて巡る観光の推進や、環境に配慮したサービス・施設の促進などの普及を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○「D0 YOU KYOTO?クレジット」制度の創設(8月)	○カーボン・オフセット付き観光旅行プランの提供(12月～3月)	○カーボン・オフセット付き観光旅行プランの提供(7月～9月, 1月～3月)		
					□企画構想段階		○クレジット認証を実施(2月～3月)	○カーボン・オフセット付き観光支援スマホアプリ「京都まちあるき観光Navij」の展開(12月～3月)			
					□着手前		ウ予算額(うち国)千円 14,200(0)	19,525(0)	17,710(0)	6,000(0)	
94	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの推進	京都において創出されたクレジットを活用し、地域で開催される会議やイベントに伴う温室効果ガス排出量の一部をオフセットする低炭素型イベントの普及を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～)	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～)	○京都一周トレイルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～)		
					□企画構想段階		※全コースマップの日英併記化を完了(9月)	※英語版ダイジェストコースマップの作成・販売(11月)	※東山コース・西山コースの道標の英文表記化の実施		
					□着手前		ウ予算額(うち国)千円 3,100(0)	2,600(0)	2,600(0)	2,600(0)	
95	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の需要拡大	京都市役所総排出量削減推進制度の創設	京都市役所におけるエネルギー管理を徹底し、事業部門別の温室効果ガス排出量の現状把握を行い、将来的な総排出量の上限を定める制度の導入を検討します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○エネルギー使用量の詳細把握、制度検討	○本格実施			
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○市役所本庁舎における省エネナビ(使用電力の「見える化」機器)の設置、データ収集	○市役所本庁舎における省エネナビの追加設置、データ収集の継続	○市役所本庁舎におけるデータ収集の継続		
					■企画構想段階			○モニタリング結果に基づく省エネ診断の実施及び省エネ対策を提案			
					□着手前		ウ予算額(うち国)千円 1,900(0)	1,900(0)	0	0	★京都市役所の温室効果ガス削減量(単年度値) 2010年度:74,207トン 2011年度:88,314トン 2012年度: 2013年度: 2014年度: 2015年度:
							エ決算額(うち国)千円 4,688(0)	3,530(0)			

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像6. ごみの減量

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
96	1. そもそ もごみを出さない	すぐにご みになる ものを「買 わない・つ くらない」	N0レジ袋の 全市展開	市民、事業者と連携した本格的なレジ袋削減の取組を全市展開します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○レジ袋削減パネルディスカッションの開催(10月) ○容器包装材が少ないお買物の新聞広告(3月)	○包装材の少ない売場を試行する「エコストア実験」を実施(2月～3月)	平成24年度をもって事業終了		
						ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	7,700(0) 2,629(0)	6,300(0) 6,292(0)	0 0		
97	1. そもそ もごみを出さない	すぐにご みになる ものを「買 わない・つ くらない」	レジ袋削減協 定の拡大	レジ袋の使用を抑制し、マイバッグなどの持参を促進することを目的とした事業者、市民団体などとの協定の締結をさらに拡大し、レジ袋の大幅な削減を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★レジ袋削減協定締結数(累積値) 2010年度:14事業者 2011年度:15事業者 2012年度:16事業者 2013年度:16事業者 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○第6回レジ袋削減協定の締結(9月)	○第7回レジ袋削減協定の締結(6月)			
						ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	0 0	0 0	0 0		
98	1. そもそ もごみを出さない	すぐにご みになる ものを「買 わない・つ くらない」	ごみの減量と 商店街の活 性化を目指 す「エコ商店 街事業」	はかり売りやはだか売り、対面販売といった販売方法や、商店街の持つ地域力を活用したごみ減量などの取組を推進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○出町商店街におけるエコスタンプ事業(通年) ○北野商店街におけるエコチケットキャンペーン(11月、2月)	○出町商店街におけるエコスタンプ事業(通年) ○北野商店街におけるエコチケットキャンペーン(7.11.2月)	○出町商店街におけるエコスタンプ事業(通年) ○北野商店街での「きたの夏まつり」での啓発活動(7月28日)、エコチケット事業(11月～)、エコチケットキャンペーン(3月)		
						ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	1,700(0) 1,700(0)	2,000(0) 1,962(0)	1,883(0)	200(0)	
					■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○出町柳商店街におけるエコスタンプ事業(通年実施) ○三条会商店街においてワークショップを実施(第1回:9月、第2回:11月、第3回:3月)	○三条会商店街における古紙共同回収事業を実施(5月～、ダンボール、新聞、雑誌及び雑紙が対象、1回の回収量約200kg)	○三条会商店街における古紙共同回収事業を実施(ダンボール、新聞、雑誌及び雑紙が対象、1回の回収量約300kg)		
						ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策21,555(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策20,147(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策18,790(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策16,668(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策17,340(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策15,123(千円)の一部	
99	1. そもそ もごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	業者収集ごみの透明袋 製の導入	資源ごみの分別・資源化と、ごみの適正排出を推進するため、京都市のごみ処理施設に搬入されるごみを対象に、民間業者(一般廃棄物許可業者)が収集するごみ袋を透明袋に限定する制度を導入します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				
					□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○透明袋以外のごみを排出した事業所への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を実施(3月末現在、展開調査14回及び簡易目視調査18回実施)	○透明袋以外のごみを排出した事業所への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を実施(展開調査14回及び簡易目視調査30回実施)	○透明袋以外のごみを排出した事業所への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を実施(展開調査14回及び簡易目視調査9回実施)		
						ウ予算額(うち国):千円 エ決算額(うち国):千円	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策21,555(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策20,147(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策18,790(千円)の一部 事業ごみ減量、分別、リサイクル対策16,668(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策17,340(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策15,123(千円)の一部	

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況
社会像6. ごみの減量

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
100	1. そそもごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	チェーンストアなどへの事業系廃棄物の減量計画書制度の対象拡大	事業用大規模建築物の所有者を対象に義務付けている事業系廃棄物の減量計画書制度を、一定規模の食品関連事業者にも対象範囲を拡大し、幅広い指導を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○対象拡大				
						イ進捗状況	○対象となる食品関連事業者(44事業者838事業所)から提出された減量計画書に基づき、立入調査による減量指導を実施(3月末現在19事業者を訪問)	○対象となる食品関連事業者(43事業者841事業所)から提出された減量計画書に基づき、立入調査による減量指導を実施(23事業者を訪問)	○対象となる食品関連事業者(43事業者896店舗)から提出された減量計画書に基づき、立入調査による減量指導を実施(21事業者を訪問)		
						ウ予算額(うち国):千円	廃棄物排出者指導業務2,438(千円)の一部	廃棄物排出者指導業務2,000(千円)の一部	廃棄物排出者指導業務2,800(千円)の一部	廃棄物排出者指導業務1,700(千円)の一部	
						エ決算額(うち国):千円	廃棄物排出者指導業務1,743(千円)の一部	廃棄物排出者指導業務1,271(千円)の一部			
101	1. そそもごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	業者収集ごみ処分手数料の改定	ごみの減量や再資源化を促すため、ごみ処分手数料の段階的引き上げを進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○改定			○改定	
						イ進捗状況	○800円/100kgに引き上げ(4月～)	○800円/100kg実施中	○800円/100kg実施中 ○1,000円/100kgへの改定(平成26年4月～)に向けて、市内事業者に対する周知啓発を実施		
						ウ予算額(うち国):千円	0	0	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策17,340(千円)の一部	0	
						エ決算額(うち国):千円	0	0			
102	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進	ごみ減量に向けた事業者の具体的な取組方法などを分かりやすく情報提供します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(3月末現在1,397件) ○分別啓発パンフレットを活用した啓発を実施 ○三条会商店街においてワークショップを実施(第1回:9月、第2回:11月、第3回:3月) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(5回 7, 9, 11, 1, 3月発行)	○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(2,025件) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(4回 7, 9, 11, 1月発行)	○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(1,257件) ○事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(5回)		
						ウ予算額(うち国):千円	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策21,555(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策18,790(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策17,340(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策15,123(千円)の一部	
						エ決算額(うち国):千円	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策20,147(千円)の一部	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策16,668(千円)の一部			
103	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	クリーンセンターにおける搬入監視体制の強化と未分別資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施	クリーンセンターにおいて搬入監視を強化するとともに、分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否を実施します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した		
						ウ予算額(うち国):千円	0	0	0	0	
						エ決算額(うち国):千円	0	0			
104	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	徹底した分別によるリサイクルの推進	使用済てんぶら油などの回収拠点拡大	バイオディーゼル燃料の原料となる使用済てんぶら油の回収拠点の拡大を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○実施				
						イ進捗状況	○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大・1,647拠点	○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大・1,686拠点	○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大・1,759拠点		
						ウ予算額(うち国):千円	40,500(0)	33,600(0)	27,100(0)	30500	
						エ決算額(うち国):千円	34,317(0)				★回収拠点数(累積値) 2010年度:1,577拠点 2011年度:1,647拠点 2012年度:1,686拠点 2013年度:1,759拠点 ★使用済てんぶら油回収量(単年度値) 2010年度:193,172リットル 2011年度:195,512リットル 2012年度:195,822リットル 2013年度:192,842リットル

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

社会像6. ごみの減量

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分		平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	オ★年度:進ちよく指標
105	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	地域力を生かした地域密着型の取組の推進	多様な資源物回収拠点拡大	土・日も開設する「より近い・より便利」常設の資源物回収拠点の設置・拡大や、公共施設や商業施設における小型家電や携帯電話回収によるレアメタル※30などのリサイクルの推進を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★回収拠点数(累積値) 2010年度:68拠点 2011年度:101拠点 2012年度:117拠点 2013年度:120拠点 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○資源物回収拠点数(てんぷら油、蛍光管など3品目以上の資源物を回収する拠点)101拠点 ○小型家電34品目回収拠点47拠点	○資源物回収拠点数(てんぷら油、蛍光管など3品目以上の資源物を回収する拠点)117拠点 ○小型家電34品目回収拠点46拠点	○資源物回収拠点数(てんぷら油、蛍光管など3品目以上の資源物を回収する拠点)120拠点 ○小型家電34品目回収拠点 46拠点		
					□企画構想段階						
					□着手前		ウ予算額(うち国):千円 199,807(0) エ決算額(うち国):千円 21,795(0)	193,316(0)	30,500(0)	28300	
106	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	地域力を生かした地域密着型の取組の推進	地域ぐるみの生ごみ・落ち葉などの堆肥化の推進	農家と連携した生ごみの堆肥化による地産地消のモデル地域の構築や、学校や公園の落ち葉、家庭からの生ごみなどの地域単位での堆肥化を促進します。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★支援件数(単年度値) 2010年度:1件 2011年度:2件 2012年度:6件 2013年度:6件 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○生ごみの堆肥化支援 京北宇津地域(9月～)、京北山国地域(21年2月～) ※その他、2地域で協議中	○生ごみの堆肥化支援 新規:深草地域(6月～)、京北黒田地域(12月～)、大原地域(12月～)、大原野地域(2月～)、既存:2地域 ※その他、2地域で協議中	○生ごみの堆肥化支援 6地域で継続		
					□企画構想段階		ウ予算額(うち国):千円 11,142(0) エ決算額(うち国):千円 4,065(0)	生ごみ減量推進事業 38,600(0)の一部 生ごみ減量推進事業 24,939(0)の一部	生ごみ減量推進事業 42,700(0)の一部	生ごみ減量推進事業 34,800(0)の一部	
					□着手前						
					■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★助成件数(単年度値) 2010年度:39件 2011年度:56件 2012年度:60件 2013年度:53件 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○地域での堆肥化活動支援56件	○地域での堆肥化活動支援60件)	○地域での堆肥化活動支援53件		
					□企画構想段階		生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 17,500(0)の一部	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 14,200(0)の一部	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 13,700(0)の一部	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 12,900(0)の一部	
					□着手前		生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援 8,093(0)の一部				
107	2. ごみは資源、可能な限りリサイクル	「学生のまち、観光のまち」ならではの取組の推進	エコイベント実施要綱によるイベントなどのエコ化の推進	イベントグリーン要綱に基づき、学園祭や地域のイベントなどのエコ化を推進することにより、次代を担う若者を中心とした更なる環境意識の向上を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施				★実施イベント数(単年度値) 2010年度:15イベント 2011年度:84イベント 2012年度:99イベント 2013年度:108イベント 2014年度: 2015年度:
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○京都市認定エコイベント登録の受付(4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバン(11月)	○京都市認定エコイベント登録の受付(4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバン(7月～9月)	○京都市認定エコイベント登録の受付(4月～3月) ○リユース食器利用促進助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバン(7月～11月)		
					□企画構想段階		ウ予算額(うち国):千円 8,400(0) エ決算額(うち国):千円 5,930(0)	8,100(0) 7,234(0)	9,500(0)	9,500(0)	
					□着手前						
108	3. ごみは安全に処理して最大限活用	環境負荷を低減するごみの適正処理	ごみ処理施設の経済性に配慮した整備・運営	ごみの減量に応じて現行の4工場体制のグリーンセンターを3工場とするなど、経済性に配慮した長寿命化計画による施設の整備・運営を図ります。	■実施済み又は本格実施中	計画	○実施		○4工場→3工場		
					□実施前最終段階	イ進捗状況	○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中	○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中	○長寿命化計画(施設保全計画)の策定		
					□企画構想段階		ウ予算額(うち国):千円 0 エ決算額(うち国):千円 0	0 0	0	0	
					□着手前						

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

整理No.27 公共施設への地域産木材の率先利用について

施設名	導入量(m ³)	完成年度
京都市立山階小学校	普通教室の腰板で使用	平成25年度
京都市立第三錦林小学校	普通教室の腰板で使用	平成25年度
京都市立中京中学校	普通教室の腰板で使用	平成25年度

整理No.44 公共施設の緑化の推進について

施設名	導入量(m ²)	完成年度
下鴨小学校	106	平成25年度
小栗栖中学校	138	平成25年度

1 地球温暖化対策計画に掲げた取組のロードマップに対応する進捗状況

整理No.75 各区におけるエコ活動支援事業の推進について

区役所・支所	実施時期(月)	イベント名称等
北	6月	北区民春まつり～ふれあいまつり2013～
	10月	北区民環境セミナー自然観察会
	11月	北区美化キャンペーン
	11月	北区地域ごみ減エコまつり
	2月	紫竹エコフェスタ
	3月	北区ECOシネマ上映会
上京	10月	上京区民ふれあいまつり
	11月	上京の子どもまつり2013
左京	7月・12月	～左京育ちのこだわり新鮮野菜が集合～「左京旬の朝市」
	7月	左京区民ふれあいまつり2013
	11月	北山ふれあいセンターまつり
	12月	八瀬地域クリーンキャンペーン
中京	10月	「区民ふれあいまつり」における環境啓発エリアの設置
東山	5月	東山区民ふれあいひろば2013
	11月	おこしやす三条まちづくりフェスタ2013
山科	9月	山科区エコアクションNo. 1宣言2013 ①環境イベントの開催 ②エコライフチェックシート(山科区版環境家計簿)の取組 ③「みんなのエコアクション! 山科」の募集(8月～12月)
	11月	ふれあい“やましな”2013区民まつり
	2月	「みんなのエコアクション! 山科」表彰式
下京	通年	下京区門灯LED化啓発・推進事業
	6月	平成25年度環境月間「京都駅周辺エコクリーン作戦」
	8月	下京キッズプロジェクト2013 ・夏の親子ふれあい自然観察教室 ・夏の親子ふれあいチャレンジまつり
	11月	下京区ふれ愛ひろば
	3月	空き地の緑化(花)推進事業「緑(花)でつつもう崇仁の空き地」
	3月	下京魅力探訪スタンプラリー
南	通年	不法投棄予防事業
	通年	区役所でのエコキャップ回収
	10月	吉祥院・ふれあいジャンボリー
	11月	南区民ふれあいまつり(リユース食器の利用, ごみの分別)
	2月	みなみちびっこエコひろば かえっこバザールinみなみ
右京	7月	右京ふれあい環境ひろば2013
	9月	宕陰竹灯籠
	9月	「水尾・花いっぱいプロジェクト」～フジバカマ 花いっぱいの水尾に行ってみよう!～
	10月	右京区民ふれあいフェスティバル
	11月	右京区民オリエンテーリングクリーン大作戦
西京	5月～10月	西京・みどりのカーテン100枚プロジェクト
	7月	「DO YOU KYOTO?西京デー」ゆかたでgo!
	11月	西京区民ふれあい祭り
	10月	リユース・リデザイン作品展
	3月	桂徳とりかエコまつり
洛西	8月	各学区・地域で行われるイベントの模擬店等におけるリユース食器の利用促進(6回)
伏見	9月	伏見ふれあいプラザ2013(リユース食器の利用, ごみの分別)
	12月	住吉学区クリーン作戦
	3月	エ～コと伏見区2014
深草	6月・11月	大岩山一斉清掃ウォーク
	6月・11月	稲荷・砂川地域一斉清掃
	6月	七瀬川水系の水辺環境調査等のフィールドワーク
	9月	七瀬川水系の水辺環境調査等のフィールドワーク
	10月	深草ふれあいプラザ
	10月	大岩山自然観察会
	2月	市民向け環境講演会
	通年	ふかくさ自然環境再生ネットワーク
醍醐	10月	深草ふれあいまつり
	9月	醍醐ふれあいプラザ
	10月	春日野エコまつり

2 地球温暖化対策計画に掲げた取組の性質別の進捗状況

類型	NO.	取組	進捗区分	指標, 実績		
ハード	4	駅などのバリアフリー化の推進	A			
	7	交通情報通信システムの開発	A			
	12	駐車場施策の見直し	A			
	17	自転車利用環境の整備	A	自転車事故件数 (単年度値)	1,760件 (H24年度)	1,681件 (H25年度)
				本市関連の自転車等駐 車場の収容台数(累積値)	45,418台 (H24年度)	43,578台 (H25年度)
	25	電動バス・ハイブリッドバスなどの導入促進	A			
	29	低炭素景観の保全・創造	A			
	63	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	A			
	70	歩行空間や自転車利用環境の整備	A	自転車事故件数 (単年度値)	1,760件 (H24年度)	1,681件 (H25年度)
				本市関連の自転車等駐 車場の収容台数(累積値)	45,418台 (H24年度)	43,578台 (H25年度)
	108	ごみ処理施設の経済性に配慮した整備・運営	A			
	2	京都駅南口駅前広場の整備	B			
	9	四条通の歩道拡幅と公共交通優先化	B			
	8	東大路通の自動車抑制と歩道拡幅	C			
	10	新しい公共交通システム(LRT, BRT)の導入検討	C			
	14	ロードプライシングの検討	C			
	36	健全で多様な森林の育成	A			
	37	三林森林景観保全・再生ガイドラインの推進	A			
	38	森林整備の担い手となる人材の育成・確保	A	林業労働者長期就労日 数(単年度値)	12, 624日 (H24年度)	12, 507日 (H25年度)
	39	施業集約化の推進	A			
	40	林業経営の効率化と低コスト化の推進	A			
	47	市民農園の整備などによる農地の有効活用	A	市民農園区画数 (累積値) ※H25年度値は集計中	4,153区画 (H23年度)	4,054区画 (H24年度)
	48	鴨川を幹とした風の道づくり	A			
	49	水と緑のネットワークづくり	A			
	27	公共施設への地域産木材の率先利用	A	導入量(単年度値)	0.2 m ³ (H24年度)	0.0 m ³ (H25年度)
	32	木質ペレットなどの公共建築物への率先利用	A			
	44	公共施設の緑化の推進	A	導入量(単年度値)	761 m ² (H24年度)	244 m ² (H25年度)
	57	公共建築物への再生可能エネルギー(太陽光, 太陽熱, 木質バイオマスなど)の率先導入	A	導入量(累積値)	35,773 kW (H24年度)	40,363kW (H25年度)
	61	下水汚泥(メタンガス)の有効利用	A	メタンガス計画利用量 (単年度値)	2,063,030 Nm ³ (H24年度)	2,400,090 Nm ³ (H25年度)
	60	南部クリーンセンター第2工場建替え時におけるバイオガス化施設の併設	B			

2 地球温暖化対策計画に掲げた取組の性質別の進捗状況

類型	NO.	取組	進捗区分	指標、実績		
ソフト	18	学校教育、シンポジウム、イベント、商業施設などでの普及・啓発	A			
	19	広報媒体などを活用したモビリティ・マネジメント	A			
	20	「市民」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	A			
	21	「観光客」の交通行動スタイルの見直しを促す施策	A			
	41	森づくりサポーターの拡充	A	森づくりサポーター登録者数(累積値)	15団体 (H24年度)	15団体 (H25年度)
	42	里山など森林を活用した環境学習事業の展開	A	環境学習活動の実施回数(単年度値)	1回 (H24年度)	2回 (H25年度)
	50	水を活用した取組の推進	A	打ち水実施数(単年度値)	2回 (H23年度)	1回 (H24年度)
	65	多様なメディアを積極活用した普及啓発	A	市民生活実感調査	56.1% (H24年度)	59.7% (H25年度)
	66	「DO YOU KYOTO? デー」における取組の推進	A	京灯ディナー参加者数(累積値)	24箇所 (H24年度)	27箇所 (H25年度)
				ノーマイカーデー参加事業所数(累積値)	103事業所 (H24年度)	106事業所 (H25年度)
				ライトダウン参加者数(累積値)	110事業所 (H24年度)	120事業所 (H25年度)
	68	エコドライブの推進	A	【★】エコドライバーズ宣言者数(累積値)	8.7万人 (H23年度)	10.3万人 (H24年度)
	69	農林水産物の地産地消と「京の時待ち食」の普及・推進による環境に配慮した食生活の普及	A			
	71	子どもへの環境教育の推進	A	エコチャレ実施学童数(単年度値)	11,000名 (H24年度)	11,000名 (H25年度)
	72	総合環境情報誌の作成・全戸配布	A			
	73	京エコロジーセンターを中心とするエコ学習の展開と人材育成	A	京エコロジーセンター来館者数(単年度値)	96,377人 (H24年度)	94,546人 (H25年度)
	75	各区におけるエコ活動支援事業の推進	A	実施イベント数(単年度値)	58イベント	60イベント
	78	家庭における省エネ診断の拡充	A	省エネ診断実施数(単年度値)	322件 (H24年度)	206件 (H25年度)
	85	カーボン・フットプリントの活用による環境価値の「見える化」の促進	A			
	86	グリーン購入の促進	A			
	89	低炭素型経済活動を推進する人材の育成と助言・診断の仕組みの充実	A			
	90	ノンフロン製品(業務用冷蔵・冷凍機器など)の普及促進	A			
	102	業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進	A			
	79	省エネラベル制度の拡充の検討	D	省エネラベル制度対象製品数(累積値)	—	—
	31	木質ペレットストーブ・ボイラー・吸収式冷温水器の普及推進	A	【★】地域産木質ペレット利用量(単年度値)	370トン (H24年度)	700トン (H25年度)
	33	間伐材の供給に対する助成	A	木質ペレット原料用間伐材供給助成件数(単年度値)	1,100m ³ (H24年度)	1,250m ³ (H25年度)
	45	屋上緑化・壁面緑化に対する助成の充実	A	緑のまちなか緑化助成件数(単年度値)	16件 (H24年度)	13件 (H25年度)
	54	太陽光発電設備及び太陽熱利用設備の導入に対する補助などの実施	A	住宅用太陽エネルギー利用設備設置助成件数(単年度)	1,780件 (平成24年度)	1,580件 (平成25年度)
	76	既存住宅における省エネ改修の支援拡大の検討	A	省エネ化による固定資産税減額対象数(単年度値、年度当初)	30件 (H23年度)	20件 (H24年度)
	87	高効率機器の導入に対する補助	A	【★】高効率給湯機器の普及台数	6.2万台 (H24年度)	7.0万台 (H25年度)
	88	環境配慮活動に対する低利融資	A	融資件数	2件 (H24年度)	1件 (H25年度)
	106	地域ぐるみの生ごみ・落ち葉などの堆肥化の推進	A	助成件数(単年度値)	60件 (H24年度)	53件 (H25年度)

2 地球温暖化対策計画に掲げた取組の性質別の進捗状況

類型	NO.	取組	進捗区分	指標、実績		
義務付けなど	23	特定事業者への一定割合以上のエコカー導入義務化	A	【★】電気自動車及びプラグインハイブリッド車の普及台数(累積値)	354台 (H23年度)	750台 (H24年度)
	24	自動車販売店に対するエコカー販売実績報告の義務化	A			
	26	特定建築物への地域産木材の利用義務化	A	特定建築物における地域産木材利用量	279.4m ³ (平成24年度)	897.4m ³ (平成25年度)
	43	特定緑化建築物への緑化義務化	A	特定緑化建築物数(累積値)	105件 (平成24年度)	218件 (平成25年度)
	52	特定建築物への再生可能エネルギーの導入義務化	A	特定建築物における再生可能エネルギー導入量	約578万MJ (平成24年度)	約511万MJ (平成25年度)
	53	事業者排出量削減計画書制度における評価(再エネ)	A	再生可能エネルギーの導入量	—	—
	91	事業者排出量削減計画書制度における総合評価制度の導入と低評価の場合の追加削減対策	A	【★】特定事業者制度報告書における総排出量(単年度値)	約176万トン (平成23年度)	約173万トン (平成24年度)
	92	環境マネジメントシステムの導入義務化	A			
	99	業者収集ごみの透明袋製の導入	A			
	100	チェーンストアなどへの事業系廃棄物の減量計画書制度の対象拡大	A			
	101	業者収集ごみ処分手数料の改定	A			
	103	クリーンセンターにおける搬入監視体制の強化と未分別資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施	A	市処理施設の廃プラスチック受入量(単年度値)	4.5万トン 平成24年度	4.5万トン 平成24年度
	46	市民などとの協働による民有地緑化の推進	D			
	56	新築住宅への再生可能エネルギーの導入義務化の検討	D			
ソフト	1	洛西地域におけるバス利便性の向上	A			
	3	市内共通乗車券の創設	A			
	5	パークアンドライドの広域展開と観光地交通対策の実施	A	市内公共交通の乗客数(一日あたり)	987千人 (平成23年度)	1,000千人 (平成24年度)
	6	公共交通不便地域の対応策に関する検討	A			
	11	パークアンドライドの通年実施	A	パークアンドライド通年実施箇所の収容台数(累積値)	5,142台 (H24年度)	5,167台 (H25年度)
	13	タクシー交通の位置付けの明確化と効果的な活用の検討	A			
	15	交通条件の公平化の検討	A	公共交通利用者へのサービス提供を行う商業施設などの数(累積値)	相談11件 実績6件 (H24年度)	実績8件 (H25年度)
	16	カーシェアリングの更なる普及	A			
	22	共同住宅、民間駐車場、商業施設などへの充電設備・水素ステーションの設置に対するインセンティブの付与の検討	A	EV用充電設備設置数(累積値)	172基 (H24年度)	197基 (H25年度)
	28	「CASBEE京都」による環境性能の評価が高い建築物の普及促進	A	【★】CASBEE京都評価届出件数【非住宅】	54件 (H24年度)	55件 (H25年度)
				【★】CASBEE京都評価届出件数【住宅】	59件 (H24年度)	60件 (H25年度)
	30	「平成の京町家」の普及促進	A	平成の京町家認定戸数(単年度値)	8件 (H24年度)	20件 (H25年度)
	34	地域産木材ストック情報システムの整備	A			
	35	ウッドマイレージなどの評価	A			
	51	「DO YOU KYOTO?クレジット(仮称)」制度の創設	A	【★】クレジット化された削減量(累積値)	114.3トン (平成23年度)	232.8トン (平成24年度)
	55	市民協働発電制度の実施	A	制度参加者数	—	—
	58	小水力発電の導入の推進	A	導入量	—	—
その他	59	使用済てんぷら油から精製したバイオディーゼル燃料の利用拡大	A	回収拠点数(累積値)	1,686拠点 (H24年度)	1,759拠点 (H25年度)
				使用済てんぷら油回収量(単年度値)	195,822リットル (H24年度)	192,842リットル (H24年度)

2 地球温暖化対策計画に掲げた取組の性質別の進捗状況

類型	NO.	取組	進捗区分	指標、実績		
ソフト	その他	62 岡崎地域等における新たなエネルギーマネジメントシステムの構築	A			
		64 京朝スタイルの普及	A			
		67 「大学のまち京都・学生のまち京都」の学生の力を活用したエコ活動の推進	A	協力大学数	—	—
		74 エコ学区、エコ商店街、エコ大学など新たな「エコ・コミュニティ」の創設	A			
		77 省エネ住まいアドバイザー制度の創設	A	省エネ化による固定資産税減額対象数(単年度値, 年度当初)	20件 (H24年度)	15件 (H25年度)
		81 京都府・経済界との連携による「京都産業育成コンソーシアム」の設立	A			
		82 研究成果を生かした環境・エネルギー関連産業などの育成・振興	A			
		83 付加価値の高い新産業を創造する京都版SBIRの推進	A			
		84 低炭素社会の実現を先導する環境知恵産業(環境エネルギー関連産業)のブランド化	A			
		93 環境に配慮した観光の推進	A			
		94 会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの推進	A	オフセットに活用されたDO YOU KYOTOクレジット量(単年度値)	3.3トン (平成23年度)	59.8トン (平成24年度)
		96 NOレジ袋の全市展開	A			
		97 レジ袋削減協定の拡大	A	レジ袋削減協定締結数(累積値)	16事業者 (H24年度)	16事業者 (H25年度)
		98 ごみの減量と商店街の活性化を目指す「エコ商店街事業」	A			
		104 使用済てんぷら油などの回収拠点拡大	A	回収拠点数(累積値)	59.8トン (平成24年度)	3.3トン (平成23年度)
				使用済てんぷら油回収量(単年度値)	0	0
		105 多様な資源物回収拠点拡大	A	回収拠点数(累積値)	117拠点 (H24年度)	120拠点 (H25年度)
		107 エコイベント実施要綱によるイベントなどのエコ化	A	実施イベント数(単年度値)	99件 (H24年度)	108件 (H25年度)
		80 既存住宅の環境配慮性能を表示する制度のあり方の検討	A	省エネ化による固定資産税減額対象数(単年度値, 年度当初)	0	0
		95 京都市役所総排出量削減推進制度の創設	C	京都市役所の温室効果ガス削減量(単年度値, 平成16年度比)	5.8万トンCO2 (平成22年度)	8.8万トンCO2 (平成23年度)

3 本市施設への再生可能エネルギー設備設置一覧

(平成26年3月末時点)

分類		施設名		能力 (kW)	完成年度	
太陽光発電 ※ 外灯用等 小規模なもの を除く。	庁舎	東山区総合庁舎		72.0	平成12	
		生活環境美化センター・南部環境共生センター		20.0	平成25	
		京都市庁舎（市庁舎前広場）		1.7	平成14	
		サンサ右京		98.0	平成19	
		伏見区総合庁舎		40.0	平成21	
		左京区総合庁舎		40.0	平成23	
	文化施設等	勸業館（みやこめっせ）		30.0	平成 7	
		子育て支援総合センターこどもみらい館□中京もえぎ幼稚園併設）		10.0	平成11	
		大学のまち交流センター		20.0	平成12	
		右京ふれあい文化会館		10.0	平成13	
		西京極総合運動公園プール棟（京都アクアリーナ）		70.0	平成14	
		ひと・まち交流館京都		10.0	平成14	
		教育相談総合センター（パトナ）		3.0	平成14	
		うるおい館（下京いきいき市民活動センター等合築施設）		3.0	平成19	
		横大路体育館		10.0	平成22	
		動物園	（「おとぎの国」ペンギンプール）		1.4	平成22
			（事務所棟）		15.0	平成25
			（東エントランス）		10.0	平成25
			（「ゴリラのおうち～樹林のすみか～」）		2.3	平成25
		旧東余熱利用センター		15.0	平成25	
		京都市体育館（ハンナリーズアリーナ）		20.0	平成25	
		国際交流会館		10.0	平成25	
		京都市地域特産物需要拡大センター（道の駅 ウッディー京北）		18.2	平成24	
		老人ホーム等	本能特別養護老人ホーム		3.0	平成17
			葛野老人デイサービスセンター・児童館		0.6	平成17
	高瀬川南市営住宅		5.0	平成15		
	桂川特別養護老人ホーム		21.6	平成25		
	大原野の杜		21.6	平成25		
	公衆トイレ	御室仁和寺東公衆トイレ		2.4	平成10	
		荒神橋西詰公衆トイレ		1.1	平成17	
	クリーンセン ター等	北部クリーンセンター		230.0	平成18	
		魚アラリサイクルセンター		7.5	平成19	
		山科まち美化事務所		48.7	平成24	
		西京まち美化事務所		49.0	平成25	
		水垂埋立処分地		4,200.0	平成24	

3 本市施設への再生可能エネルギー設備設置一覧

(平成26年3月末時点)

分類		施設名	能力 (kW)	完成年度
太陽光発電	消防施設	災害物資搬送センター	10.0	平成 9
		上京消防署	10.0	平成10
		消防職員待機宿舍御室寮	20.0	平成10
		中堂寺消防出張所	5.0	平成11
		伏見消防署	10.0	平成17
		下京消防署	10.0	平成20
		消防活動総合センター活動支援施設	10.0	平成20
		塩小路消防出張所	3.7	平成22
	教育施設	新町小学校	10.0	平成 8
		二条城北小学校	10.0	平成 9
		堀川高等学校	20.0	平成10
		京北第二小学校	20.0	平成11
		仁和小学校	10.0	平成12
		乾隆小学校	3.0	平成12
		環境保全活動センター（京エコロジーセンター）	20.0	平成13
		朱雀第三小学校	3.0	平成13
		大枝小学校	3.0	平成13
		桂東小学校	3.0	平成13
		西京極中学校	3.0	平成13
		岩倉南小学校	3.0	平成14
		終野小学校	3.0	平成14
		常磐野小学校	3.0	平成14
		深草小学校	3.0	平成14
		月輪中学校	3.0	平成14
		大枝中学校	3.0	平成14
			54.0	平成25
		西京高等学校	10.0	平成14
			28.0	平成24
		桂川小学校	3.0	平成15
		上京中学校	3.0	平成15
		高雄中学校	3.0	平成15
		神川中学校	3.0	平成15
			6.0	平成23
		北総合支援学校	3.0	平成15
			2.5	平成25
		桂徳小学校	3.0	平成16
		松ヶ崎小学校	3.0	平成16

3 本市施設への再生可能エネルギー設備設置一覧

(平成26年3月末時点)

分類		施設名	能力 (kW)	完成年度
太陽光発電	教育施設	元白川小学校	3.0	平成16
		京都御池中学校	3.0	平成17
		市原野小学校	3.0	平成18
		下京中学校	20.0	平成18
		久我の杜小学校	3.0	平成19
		室町小学校	3.0	平成19
		日野小学校	3.0	平成20
		洛陽工業高等学校	6.0	平成10
		開晴小中学校	3.0	平成22
		桂坂小学校	5.0	平成22
		養徳小学校	10.0	平成22
		修学院小学校	10.0	平成22
		小栗栖宮山小学校	10.0	平成22
		池田東小学校	10.0	平成22
		下鳥羽小学校	10.0	平成22
		納所小学校	10.0	平成22
		向島藤の木小学校	10.0	平成22
		向島南小学校	10.0	平成22
		向島二の丸小学校	10.0	平成22
		美豆小学校	10.0	平成22
		久世中学校	10.0	平成22
		大宅中学校	10.0	平成22
		嵯峨中学校	10.0	平成22
		四条中学校	10.0	平成22
		大原野中学校	10.0	平成22
		藤森中学校	10.0	平成22
			16.6	平成25
		春日丘中学校	10.0	平成22
			44.0	平成25
		向島東中学校	10.0	平成22
		洛水中学校	10.0	平成22
		呉竹総合支援学校	10.0	平成22
		朱雀第四小学校	3.0	平成23
		鷹峯小学校	4.0	平成23
		凌風小中学校	10.0	平成23

3 本市施設への再生可能エネルギー設備設置一覧

(平成26年3月末時点)

分類		施設名		能力 (kW)	完成年度
太陽光発電	教育施設	神川小学校		3.0	平成23
		大將軍小学校		43.0	平成25
		八瀬小学校		10.0	平成25
		西総合支援学校		3.0	平成25
		東山泉小中学校		40.4	平成25
		中京中学校		5.0	平成25
		市立小学校 環境教育用（風力発電併用） 131校（元学校含む）		小規模のため参考記載	
		市立中学校 環境教育用（風力発電併用） 34校（元学校含む）		小規模のため参考記載	
		市立小中一貫校 環境教育用（風力発電併用） 2校		小規模のため参考記載	
		市立総合支援学校 環境教育用（風力発電併用） 3校		小規模のため参考記載	
		上下水道施設	鳥羽水環境保全センター	(GH系列水処理電気棟)	10.0
	(A系列水処理上屋)			1,000.0	平成25
	松ヶ崎浄水場		20.0	平成18	
	蹴上浄水場		20.0	平成20	
	新山科浄水場		20.0	平成21	
			1,000.0	平成25	
	電気自動車等 用充電設備に 併設		山科区総合庁舎		1.3
		京都市生涯学習総合センター		1.3	平成22
		下鳥羽公園球技場		1.3	平成22
		宝が池公園		1.3	平成21
		小畑川中央公園		1.3	平成21
		寺町駐車場		1.3	平成21
		旧東余熱利用センター		1.3	平成21
		青少年科学センター		1.3	平成21
		市立体育館		1.3	平成21
		吉祥院公園		2.1	平成23
		右京ふれあい文化会館		1.9	平成23
		宝ヶ池公園 子供の楽園		1.3	平成23

3 本市施設への再生可能エネルギー設備設置一覧

(平成26年3月末時点)

分類	施設名	能力 (kW)	完成年度
太陽熱利用 ※ 能力は有効集熱面積	桃陽病院	(87.5㎡)	昭和57
	障害者スポーツセンター	(114.0㎡)	平成 2
	葛野老人デイサービスセンター・児童館	(7.6㎡)	平成17
	大塚消防出張所	(5.7㎡)	平成12
	神川消防出張所	(5.7㎡)	平成13
	西京極総合運動公園プール棟 (京都アクアリーナ)	(1,914.2㎡)	平成14
	高速鉄道烏丸線竹田総合事務所	(3.8㎡)	昭和60
	鳥羽水環境保全センター (管理棟)	(157.1㎡)	昭和56
	南浜消防出張所	(5.7㎡)	平成16
	うるおい館 (下京いきいき市民活動センター等合築施設)	(32.0㎡)	平成19
	下京消防署	(28.0㎡)	平成20
	消防活動総合センター活動支援施設	(53.2㎡)	平成20
	塩小路消防出張所	(6.0㎡)	平成22
	産業技術研究所	(38.9㎡)	平成22
	動物園 (「ひかり・みず・みどりの熱帯動物館」)	(62.0㎡)	平成25
風力発電	洛陽工業高等学校	0.4	平成20
	市立小学校 環境教育用 139校 (元学校含む)	小規模のため参考記載	
	市立中学校 環境教育用 37校 (元学校含む)	小規模のため参考記載	
	市立小中学校 環境教育用 2校	小規模のため参考記載	
	市立総合支援学校 環境教育用 3校	小規模のため参考記載	
バイオマス熱利用, 燃料製造	廃食用油燃料化施設 (バイオディーゼル燃料生産規模: 5,000L/日)		平成16
	鳥羽水環境保全センター (下水処理過程で生じるメタンを熱源として有効利用)		平成17
	魚アラリサイクルセンター (魚アラ処理過程で生じる熱や油をセンター内で有効利用)		平成19
木質ペレットボイラー	京北病院	200.0	平成22
	開発野菜種子配布センター	40.0	平成23
		12.6	平成25
	鷹峯小学校	35.2	平成23
	老人保養センター (旧東余熱利用センター)	377.9	平成25
木質ペレットストーブ	宇津峡公園	28.0	平成21
	京北合同庁舎	8.1	平成21
	京都市地域特産物需要拡大センター (道の駅 ウッディー京北)	12.5	平成21
	京都市森林文化交流センター	12.5	平成21
	北部農業振興センター	4.7	平成21
	西部農業振興センター	8.1	平成21
	東部農業振興センター	8.1	平成21
	産業観光局農林振興室	4.7	平成21
	朱雀第四小学校	7.5	平成23
	凌風小中学校	4.7	平成23
	右京区総合庁舎	7.1	平成24

3 本市施設への再生可能エネルギー設備設置一覧

(平成26年3月末時点)

分類	施設名	能力 (kW)	完成年度
木質ペレットストーブ	左京区役所花脊出張所	6.5	平成24
	左京区役所久多出張所	6.5	平成25
	東山泉小中学校	19.5	平成25
	八瀬小学校	45.5	平成25
コージェネレーション	久世特別養護老人ホーム	17.0	平成10
	桂川園特別養護老人ホーム	17.0	平成10
	修徳特別養護老人ホーム	17.0	平成13
	小川特別養護老人ホーム	9.6	平成13
	京都市障害者支援施設大原野の杜	9.8	平成13
	西京極総合運動公園プール棟（京都アクアリーナ）	280.0	平成14
	伏見水環境保全センター	1,200.0	平成17
	本能特別養護老人ホーム	10.0	平成17
	サンサ右京	110.0	平成19
	伏見区総合庁舎	6.0	平成21
廃棄物発電・熱利用	南部クリーンセンター	8,800.0	昭和60
	東北部クリーンセンター	15,000.0	平成12
	北部クリーンセンター	8,500.0	平成18
水力発電	石田水環境保全センター	9.0	平成18
温度差エネルギー	環境保全活動センター（京エコロジーセンター）		平成13
【参考】燃料電池	京都御池中学校・複合施設（京都御池創生館）	1.0	平成18